発 言 者	議 事
議 長	〔 6 月 1 9 日 〕
議 長	皆さん、おはようございます。只今の出席議員は10名であり、定足数に達しておりますので、昨日に引き続き会議を開きます。（10：00）
議 長	本日の議事に入る前に、昨日の山崎孝議員の一般質問の中で、厚沢部町の男女の健康寿命についての質問がありました。その件につきまして、保健福祉課、三橋課長補佐から答弁があります。
議 長 保健福祉課長補佐	保健福祉課長 厚沢部町の健康寿命です。昨年30年8月の国保連合会からのデータからひろっております。男性が65.6歳、順位的には道内で60位。女性が66.9歳、順位としては21位ということになっています。以上です。
議 長	それでは、これより議事に入ります。
議 長	日程第6 議案第1号 令和元年度厚沢部町一般会計補正予算、議題とします。
議 長	議案の説明を求めます。
議 長 税 務 財 政 課 長	税務財政課長 議案第1号の令和元年度厚沢部町一般会計補正予算（第1号）の内容について説明いたします。（議案内容説明省略）
議 長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議 長	最初に歳入全般について質疑ありませんか。ページ数は8ページから17ページまでです。

議 高 田 議 員	長 員	<p>9番、高田議員</p> <p>ページ数は8ページ、地方譲与税のところ、森林環境譲与税っていうのあるんですが、地方譲与税の中に森林環境譲与税っていうのは今回初めて出てきたと思うんですけど、最終的にこれ、中身が分からないのでご説明いただきたいんですけど、この931万円という、その積算の根拠ってどういった格好で出てくるものなんですか。</p>
議 副 町 長	長 長	<p>副町長</p> <p>これは森林環境税が導入されて、まだ実際は賦課されていないんですけども、復興税が終わった時点で3年後だったかな、5年後だったか、その時点で入ると。これを前倒しで譲与するというものでして、これにつきましては3つの要素で分配されます。1つは私有林の人工林の面積割合が半分。人口割が30パーセント。それと林業就業者の数で20パーセントということで全国の市町村、東京を除く全国の市町村に配分されるという、さっきの3つの要素で配分されるということでありまして、それから計算しますと931万1千円という数字になるということでございます。</p>
議 高 田 議 員	長 員	<p>9番、高田議員</p> <p>新しくなったやつということなので、今の説明通りということなんでございましょうが、今後どうなるんですか。確か初めて入ったということで見たら、平成36年でしたっけ、平成36年から国民一人あたり千円とかなんとかってあったと思うんですけど、そこまでの間の動きってどうなるんですかね。</p>
議	長	農林商工課主幹

農林商工課主幹	<p>先ほど副町長から答弁ありましたとおり、本年度の額については931万1千円ということで予算計上しております。この額につきましては、現在では推計ではありますが、平成33年度までは制度的に同じ額でいくと考えられます。また、それ以降、平成になおしますと34年度からその後3年間はまた割合が変わりまして、現状の試算だと概ね1千400万円程度で、その後、また3年ごとの区切りがありまして、最終、税額がどれくらいになるのか分からないんですが、最終3千万円程度が年間、交付される見込みではございます。以上です。</p>
議 長	<p>歳入全般について質疑ありませんか。</p>
議 長	<p>2番、山崎議員</p>
山 崎 議 員	<p>15ページの寄附金の関係であります。指定寄附金100万円ですが、これは教育関連事業に対する指定でありますか。具体的には教育関連事業というのはどのような人を目的とするものでしょうか。確かこの方は今まで過去にも何回かされているような気がしますけども、教育関連事業というのはどのようなものに資金充当されているのでしょうか。</p>
議 長	<p>税務財政課長</p>
税 務 財 政 課 長	<p>指定寄附金100万円、どこに充当されるかということのご質問と思うんですが、こちらは毎年100万円ということでいただいております。創造の翼、中学生の研修派遣事業に充当されているところでございます。</p>
議 長	<p>ほかに歳入全般について質疑ありませんか。</p>
議 長	<p>それでは、次に歳出の質疑に入ります。</p>
議 長	<p>歳出は三つに分けます。はじめに1款議会費から3款民生費までの18ページから23ペー</p>

<p>議 長</p>	<p>ジまで。次に4款衛生費から7款商工費までの24ページから29ページまで。最後に8款土木費から10款教育費までの30ページから36ページまでです。</p> <p>それでは、最初に1款議会費から3款民生費まで。ページ数は18ページから23ページまでです。</p>
<p>議 長 中山 議員</p>	<p>1番、中山議員</p> <p>まず、1点目ですけれども、1点目につきましては20ページになります。この度、初めて子育て支援アドバイザーっていうものが設けられまして、採用されるってことなんですけれども、これはどういう目的でこのアドバイザーが活躍されるのか、また、今後も通年でこう採用していくのか、そのへんについても説明していただきたいと思います。次に22ページになります。22ページの今回プレミアム商品券、予算載ってるんですけども、今回買う方が非常に限定されていると言いますか、買える方が迷うんではないかなっていうふうな内容なんですけれども。ここに説明書あるんですけども、ちょっとこうもう少し内容を詳しく、そして購入できる方の、なかなか難しいではないかなっていうふうに思うんですけども、そのへんについても説明していただきたい。もう1点です。もう1点は同じところにその下にあるんですけども、町の遺族会の運営費補助金、今回100周年ということで記念事業をしたいということで、8万円の補助金が出てますけれども、この根拠を教えてくださいと思います。</p>
<p>議 長 総務政策課長</p>	<p>総務政策課長</p> <p>子育て支援アドバイザーの件でございますが、これにつきましては、昨年10月から開設しております公営塾、それから今年の4月から開設されました認定こども園、これらスタッフのサポ</p>

<p>議 長 保 健 福 祉 課 長</p>	<p>ート、それから保護者の対応、これらの職員体制の強化と言いますか、そういうことで専門員を配置するというところでございます。当面、継続していこうと考えております。</p> <p>保健福祉課長</p> <p>プレミアム商品券事業の関係でございますけれども、資料ナンバー6に粗々概要を載せておりますけれども、先ほど議員おっしゃられましたように今回は購入される方が限定されていると。まず最初には令和元年度の住民税非課税者とうことで、これの基準日31年の1月1日を基準日にして計算して住民税非課税者とうことでありまして、これには生計を同一の配偶者とか扶養親族、生活保護の方を除く方を対象としております。もう一つの対象の方は3歳未満の子どもを持っている世帯とうことで、世帯主の方が対象となります。これの購入なんです、商品券の購入とうことで購入するかしないかは本人たちの希望、意思で決定されるんですが、購入額につきましては券面額2万5千円、これを上限としまして、それを販売額を2万円とうことなので、割引率としては20パーセントになります。それで、この販売される券の単位なんですけれども、5千円単位の分割販売とうことで、先ほど言ったように2万5千円上限、それで一枚の券面額は500円で使えますよ、そういうことになります、使用可能期間であります、これがですね10月1日からですね、令和2年、年明けまして2月の末までを購入できますよと、そういう形になるんですが、先ほど購入内容とか、そういうのが難しいんじゃないかとうことなんです、これにつきましてはですね、こちらのほうからも、また回覧等でこういう方々にこういう事業がありますとうことでチラシ等を配布したいと思っております。それで、こういうことになります、最終的にこちらの方で非課税者云々とうのはこちらの方で7月からですね、</p>
----------------------------	--

申請あがってきたものを審査しまして、あなたは対象になりますよという方には順次、購入の引き換え券をその方に発送しまして、その購入の引き換え券をもちまして、商品券の購入をしていただくと、そういう形になります。また、子育て世帯分につきましては、もう子供の関係であれば、うちのほうで対象者把握できますので、その方に対しては審査期間というものを設けなくて、購入引き換え券の発送を7月の中くらいから順次発送して、先ほど言いましたように10月1日からの商品券の引き換えになります。この商品券なんですけれども、引き換え等につきましては、厚沢部商工会の方と委託かけまして、そちらの方で、商工会、まちなか交流センターの方では、土日祝日を除いた日、随時、まちなか交流センターで販売していますと、2月中旬くらいまで。そしてあと、10月と12月と2月には鶉の多目的センター、館の振興センターに出張販売ということで、この月に各1日ずつ出向くと。そういうことで対処しております。また、この購入できる店舗、店舗につきましては、まだこれから商工会の方がどういうところと購入できますよということで決定されれば、8月の下旬くらいにですね、こういうチラシにそういう購入できる商品、商店名を記載したチラシを配布するという形で事業を進めております。それから、遺族会の運営費でございますけれども、これにつきましては先ほど言いましたように、忠魂碑建立で大正8年に建立されたもので、今年でちょうど100年を迎えるということで、そういうことで戦没者に対する記念事業、こういうことで遺族会の中で、慰霊祭の中でこういうことをやりたいということでありまして。実際にこの8万円はどいういうものなのかということでもありますけれども、この8万円につきましては、どういうことをやるのかというと民謡と舞踏、踊りですね。これを行ってこういう100周年記念事業にあてたいということなんで、この民謡を歌う

議長
中山議員

方、2名の方、それから三味線の方、尺八の方、それから踊りを踊られる方、計5人に対して、まず5万円ずつ謝礼というか出します。あと、その他にはですね、こういうふうに忠魂碑建てられてまして100年迎えますよというようなパンフレット等を作ります。それと、あと記念品ということで、慰霊祭にでられた方に記念品差し上げたいということで、そういうことで予算としましては8万円を計上したところであります。

1番、中山議員

1点目、総務課長、今回初めてのアドバイザーということで話聞きますと、前中井教育長というようなことで情報は伝わってますけども、単価ってというのは、決める時に、今回どういう試算でこういうふうにこの単価を決めたのか。そのへんについてはどうなんですか。年金生活、教育長してると思うんですけども。今回は初めての事業ですのでこれがまた、さっきの答弁では今後とも続けていくということで。たぶん、何年やるのかちょっと分かりませんが、そのへんについての根拠をですね、説明していただきたいというふうに思います。もう1点、プレミアム商品券ですけども、非常に町長、今回説明聞いても、ややこしいなど、これまでしてやらないとダメなのかなという、非常に今回限定されたプレミアム商品券で、なぜそういうふうなことになった経緯と言いますか、従来のプレミアムの方が住民は簡単に理解して、みんなが購入するということなんですが、今回ずいぶん限定された補助金ということで。そのへんについての経過について説明していただきたいなど。で、今後、従来のプレミアム商品券というのはやる予定あるのかどうなのか。そのへんについてももう1回聞きたいなというふうに思います。それで最後の遺族会の100周年記念ですけども、8万円というのは今説明を聞いたら、ずいぶん100周年記念

<p>議 長 総務政策課長</p>	<p>にしては少ないなど。それと話に聞きますと、この今言った追分、それから踊りについては神式の中ではやれないという、全部終わってからの、やってくださいというようなことなんですけれども、それについてはいかがなものなのかなと。終わってからは何の意味もないんでないかなっていう気するんですけれども、そのへんについてはどう取り扱っていくのかなって、そのへん内容説明していただきたいなというふうに思います。</p> <p>総務政策課長</p>
<p>議 長 保健福祉課長</p>	<p>アドバイザーの賃金の単価でございますけれども、まず既に退職されている方っていうのもあります。近隣町村の役場の基準、それから道の方の基準等勘案しまして、年金受給されておりますので、そのへんも考慮して、ある一定の基準超えるとその分減額されるということもございまして、そのへんを考慮したうえでこの単価をっていうことで決めさせていただきました。</p> <p>保健福祉課長</p> <p>プレミアム商品券の関係でございますけれども、これにつきまして、今まで従来のプレミアム商品券とは違いまして、今10月にですね、消費税が10パーセントへ引き上げるという国の方針であります。それで国の方では低所得者らと子育て世代にこれら消費に与える影響を勘案するというので、このプレミアム付き商品券を限定的に事業として進めるということで先ほど言いましたように、住民税非課税者と3歳未満の子どもがいる方々、そこを限定しての商品券だということでもあります。それで事業は国の事業なので、補助として国から全額補助があります。町単独のプレミアム事業ではございませんということです。あと、遺族会の関係でございますけれども、慰霊祭と一緒にやるということで、その日にやるということなんです、慰霊祭は慰霊祭と</p>

<p>副町長</p>	<p>してやりまして、慰霊祭終了後にですね、忠魂碑建立100周年記念ということを進めると。ですので体系的には慰霊祭終了後すぐに100周年記念事業として入ると。そういう形で進めたいと思います。</p> <p>従来のプレミアム商品券、去年までやってきたものについては、あくまでも商工会の要望を受けて補正対応をさせて、実施してきた所でございます。消費の喚起というのもございます、商工対策として町が要望を受けて事業主体となって商工会に委託して実施してきたものでございますので、要望が無ければ検討はしてはおりません。</p>
<p>中山議員</p>	<p>1番、中山議員</p> <p>今の副町長の答弁は非常に簡単で、明瞭で、あと商工会がどう動くのか、そのへんについては我々口出しできないような状態のようでございます。町長ですね、この慰霊祭なんですけれども、慰霊祭の場合に、神式で今うちはやっていますよね、やっぱり遺族会としてはその中でやってほしいと。神様が降りてきて、神様が昇っていく、この間でやらないと、今まで苦勞してきた人方に対する何かしら意思が伝わらないんでないかと。遺族会の希望はなかったのかどうかってそのへん、大変私が聞く限りは、そのへんがかなり不満で、その中でやってくれればいいなど、護国神社あたりではその中での催し物をやっているということで、同じ戦没者慰霊祭なんですけれども、なぜ当町だけまるっきり終わってからやるんだと、中でやらしてくれれば慰霊になるんでないのってというようなことで、大変要望受けておりますので、そのへんについては検討できるのかどうかともう一度。それともう一つ、子育てアドバイザー、認定こども園と公営塾はわかりますけれども、公営塾の場合はサポートですから、この方は英語の方ですか、達者な方ですか。そ</p>

<p>議 副 町 長</p>	<p>れと認定こども園の方の、応援ということで、このへんはどういうことなんですか、今の体制ではあんまり芳しくないっていうふうに捉えていいんですか。</p> <p>副町長</p> <p>こども園、4月にオープンさせていただいたところがございます。色々な考え方、誰をトップにということか、園長なわけでございます、教育関係者であったり、あるいは専門の方という考え方もございますが、うちの場合、保育士さんをそのまま園長に据えて4月からがんばってもらっているところがございますが、それに対して不足等とかそういう実力不足だとかそういうことではないんですけれども、併せて発達支援の方も実行、受け入れを進めていくわけもございます、やはり今までは保育士として、幼稚園の免許も持っているんですけれども、保育士として活躍してきた人でありますのでそれを教育的なサポートもありますし、発達支援のほうの支援もございますので、より安全を期してこども園にアドバイザーを設置させていただきたいということでございます。</p>
<p>議 保 健 福 祉 課 長</p>	<p>保健福祉課長</p> <p>遺族会の関係で、慰霊祭の中でできないかということなんでございますけれども、この忠魂碑建立100周年記念事業の関係で、慰霊祭に来られる宮司さん、そちらの方でもこの打ち合わせしたんですけれども、宮司さんは慰霊祭は慰霊祭で行って、100周年記念は慰霊祭終了後にも行っていただきたいという、宮司さんの考えをうちらも色々宮司さんと話したんですけれども、そういう考えが強かったので、同日、当日やるんですが、一応慰霊祭を終了させて、すぐに記念事業に入りたいと、そういう形で進めております。</p>

<p>議 町</p>	<p>長 長</p>	<p>町長 今、慰霊祭の件で慰霊記念事業を進めたらどうかとご意見でありますけれども、先ほど課長も申しあげましたとおり、忠魂碑の碑の建立の100周年ということでございます。遺族事業ではなくて、碑の建立の記念式典でございますので、あの場所でやりたい、碑の前で。ですから従来通り慰霊祭は開発センターで行いますけれど、建立したのがちょうど100年ということで、この忠魂碑ですね。これの記念なんだということで、ぜひこの記念式典をしたいというこのような要請で、今課長の方から話ありましたように慰霊祭が終わった後でその舞台を使うというふうな最終的な話になっているようであります。中山議員が言われるように、この会場終わって遺族がそのままいる中で、すぐ進めるということであれば帰る人があんまりいないんでないかなと、こういうふうに思います。ただ、いずれにしても、この記念式典というのは忠魂碑の碑の建て100周年、こういうふうな記念で、実施については遺族会の方に全面的に任せてありますので、あまり行政が口をはさむものでないと思います。それは遺族会の方で好きにやんなさいということで要請を受けているところであります。</p>
<p>議 山 田 議 山 田 議 員</p>	<p>長 員 長 員</p>	<p>5番、山田議員 別の件でよろしいですか。 このページにある3款まででしたら結構です。 20ページの14目ですね、地域活性化事業費のことについてちょっと教えてください。旧館保育所トイレ等の改修工事費についての質問になりますが、昨日も町長がちらっとですね、保育所をですね、毎年来てる学生さんのですね、宿舎として使用するというのを耳にしましたが、</p>

<p>議 長 副 町 長</p>	<p>このための工事費ということで、200万円ということで認識していますが、学生の方々せいぜい9月、10月で終わりますよね、その後の旧保育所の使い道としては何か決まっているのか、それとも別にこれは町の維持管理の中でやられているのか説明していただきたいです。</p> <p>副町長</p> <p>今、ご質問のとおりこのトイレの改修については保育児、小さい子どものトイレだったので、大人はできないわけでごさいます、それを大人用に改造すると。その目的につきましては先ほどおっしゃられるように、今学生さんたちが従来では30人程度だったものが60人弱程度になったというもので、またさらに泊まる場所を確保してほしいという要請に基づいて使用させるということの考えでごさいます。ただ、この使用につきましては、うちの方はこの設備だけはトイレを改造しますけども電気代等かかる経費色々ごさいます。それについては使用者負担でということとやっていたくという考え方でごさいます。2か月か3か月しますと空きますわね、空いた時の有効利用、もし、希望があればその時で相談していただければというふうに思うところでごさいます。</p>
<p>議 長 山 田 議 員</p>	<p>5番、山田議員</p> <p>実は町内会寄りなんですけれども、館町の町内会をとおしてですね、地区の老人クラブからですね、旧保育所、これの決まる前にですね、使わせてほしいという相談を受けたんですよね、役場の総務課行ったらこれは保留状態なんですよ、それで今回このような形で学生が使うということになりましたので、今後、冬期間ですね、高齢者の町内会色々考えている面で、サロン・サークル上、伝え、役場をお願いしたいと、そういうような感じで冬期間なんとか使えるような感じ</p>

	<p>でもっていききたいというような。冬は危ないので中で色々運動器具とかを揃えてやりたいんですが、ただ、町内会としても、この維持管理の面で色々な予算が無いものですから、そのへん役場と緊密に相談したいなと思うんですが、そういうような感じです。</p>
<p>議 長 副 町 長</p>	<p>副町長 老人クラブで借りるよりも町内会で借りた方が老人だけでなく色々な使い方もできるのかなという気もして、今話を伺って、しております。やはりそうすると経費の問題というのが出てくるわけですし、そのへんもお互いに詰め寄りながら妥協線を探っていきたいなとも思っております。</p>
<p>議 長 松 村 議 員</p>	<p>4 番、松村議員 19 ページ、交通安全費ということで、この説明書を見ますと、ヘルメット、自転車用の。で、中学生が80名、小学生が160名なんですけども、これ館の方も全員ですかこれ。160で小学生。ヘルメットは通学の時は中学生は自転車で通ってますけども、小学生は家に帰ってから子どもたちは運転する。そのためにこのヘルメットを提供するということですか。ただ、これは周知徹底するのに子どもたちかぶるのかどうか。そのへんはどうなんでしょうね。中学生はかばらなければならなくなっただけでないの、これ、法律的に。小学生は家に帰ってからだからほとんど、そのへんの周知徹底はなされるんでしょう。どうなんでしょう。</p>
<p>議 長 総 務 政 策 課 長</p>	<p>総務政策課長 ヘルメットにつきましてではですね、まずお金の流れといいますか、今回、厚沢部町交通安全推進委員会、町長会長になっておりますが、そちらのほうにヘルメットの購入代相当の補助金を</p>

	<p>出して、そこから今考えているのは各小学校、中学校にですね、児童・生徒分のヘルメットを貸与すると言いますか、学校で管理してもらおうと考えております。それで先ほど松村議員おっしゃっていましたが、通学の子ども実際のところそんなにいません。それで、道の自転車条例が制定されてですね、努力義務ということではございますけれども、普段自転車乗られる時に、かぶってもらうということで、学校をとおしてでもそういうPRをしていただいで、今回貸与するという考えで今回予算計上させていただきました。</p>
<p>議 長 松 村 議 員</p>	<p>4 番、松村議員 そのヘルメットは交通安全推進委員会ですか、そのヘルメットの形と言うか、色々あると思うんですよね。そういうのはこっちのほうに全部任せているということですか。まだ、それまではいってないと思うんですけども、子どもたちがかぶるようなヘルメットをぜひ提供していただきたいと思います。</p>
<p>議 長 総 務 政 策 課 長</p>	<p>総務政策課長 小学生と中学生となりますと、頭の大きさもだいぶ違うかと思しますので、今のところカラーと言いますか、色は色々あるみたいなんです。それで、小学校用のある程度の、フリーサイズは無いんですけども、融通利くヘルメットということで小学生用と中学生用と若干大きさ違いますけれども、そういうのを今想定してございます。</p>
<p>議 長 松 村 議 員</p>	<p>4 番、松村議員 今、大変悲惨な事故がありまして、なるべくならヘルメットをかぶるのが、徹底してもらいたいんですけども、このへんは学校の方との連絡とってやるってことですか。</p>

<p>議 長 総務政策課長</p>	<p>総務政策課長 先般、厚沢部駐在所長さんのお話でございますけれども、ヘルメットをかぶっていれば死亡事故に至らなかった案件があったという、そういうふうな話もありましたので今回こういうことでヘルメットを子どもたちに着用させたいということで予算計上したわけですが、学校を通じてですね、学校の方から絶対と言っても忘れる事あるかと思っておりますけれども、そのへんの徹底はしていただきたいなと考えてはございます。</p>
<p>議 長 高田議員</p>	<p>9番、高田議員 一つはですね、アドバイザーの件で認定こども園のアドバイザーということも含めてなんで、確認しておきたいんですけれども、今認定こども園の発達支援という形で現実に対応しているお子さんってどのくらいいるのかなって。これが一つと、それから先ほど、プレミアム商品券のお話をして、実はこれを商工会に委託ってことがあったので、ちょっと立場違うんですけど、将来的に煩雑になるのかなってことも含めて、実は今回、商工会要望だしていなかったんですけども。要望があればという話を副町長から聞いたので、帰って改めて検討したいというふうに思っています。よろしくお願ひします。</p>
<p>議 長 保健福祉課長</p>	<p>保健福祉課長 こども園の発達支援利用者ということですが、今ですね、今現在6名の方が発達支援の方で利用されております。</p>
<p>議 長 副町長</p>	<p>副町長 私言ったのは、検討をすると言っただけで必ずやるとは言っていない。確かに、2割の人と、町</p>

	<p>で今までやったの3割でやらしてもらって全員が買えるという形でやって。それとこれも、年末までであればその後1月、2月、3月を単独でっていうことも考えられると思いますけれども、今回の場合は2月までという結構長い時期なんで。そのへんは今、煩雑になるということで勘違いされる、大変そういうのが起きやすいというふうに思っております。</p>
<p>議長 山崎議員</p>	<p>2番、山崎議員 19ページ、企画費ですね、死活維持路線バス運行費補助金1千174万1千円という大変こまかい数字まで出ていますが、この積算根拠教えてください、補助金の。私の考えるの、ただ、空バスで走って補助。ただ、特別交付税100パーセント入っているわけですから、まあいいけれども。ずいぶん無駄なこととして走っているなと思ってるんです。私の目の前も走りますので。ほとんど乗ってないですよ。それがどういうわけかこういう細かい数字まで積算して補助出すんですか。その根拠お教えてください。それと今二つ、三つ言わなかったら困るんでちょっと言いますけれども、それとですね公営塾が直営でやっているわけですが、これ備品購入というのは結構なんですよけれども、現況がどういう公営塾の動き方、子どもたち何人入ってやっているのか見通しとしてどうなのか、そういうところについてもお知らせ願いたいと思います。</p>
<p>議長 山崎議員</p>	<p>山崎議員、それは子育て支援アドバイザーに関連した質問、何ページ。 いや、そうではなくて18節に公営塾備品購入費っていうのが21万1千円あります。21ページです。</p>
<p>議長 山崎議員</p>	<p>はい、わかりました。 それは異論ないんですけども、しからば、公営塾っていうのはどのような動き方している</p>

<p>議 長 山 崎 議 員</p>	<p>のか、そのへんところ説明を求めたいと思っております。</p> <p>2点でよろしいですか。</p> <p>あともう一つです、中山さんも色々関連あります。実はアドバイザーってというのは何のこれアドバイスするのか、実際に問題が発生しているのかのかね、なんかあるからこういうことをしなきゃならないのかなって思うんです。だって認定こども園だって町直営でやっているわけでしょ。なにかしら中身問題あるんですか。それでこういうアドバイザーたてなきゃならないって事情発生するんですか。なにかそのへん疑わしくなるんですよね。3点お願いします。</p>
<p>議 長 総 務 政 策 課 長</p>	<p>総務政策課長</p> <p>まず、1点目のですね生活維持路線バス運行補助金につきましては積算根拠としましては、まだ、当該年度と言いますか、いくらになるかまだ分からない状態でございます。従いまして、前年の実績をもとに今回計上させていただいたところでありまして。それからですね、塾の備品購入費につきましては、まず、どちらも公営塾用の備品というのがパソコンであります。それから、アドバイザー用のこれにつきましても、パソコンでございますけれども、まずスタッフのパソコンにつきましては今、実際、3人張り付いてございます。そのうち1人が1月までで抜けますので、8月から今もう一人新たなスタッフが入るということで4人体制で一時なるもんですからその不足分のパソコンを1台購入したいと。それからアドバイザー用のパソコンの1台ということで。それから今現在ですね、新たな今年度の塾生につきましては、3年生が今20名、それから2年生が15名、それから新1年生が今、こないだ募集取りまとめしたところですね、11名の生徒さんが塾に通いたいということで、まだ実際には7月から1年生は塾に通うという</p>

<p>議 長 副 町 長</p>	<p>こととなりますが、そのほかに昨年卒業されました新高校1年生、江差高校になりますけれども引き続き塾に通いたいということで今、3名公営塾の方に通っているという状況でございます。</p> <p>副町長 アドバイザーの設置でございますけれども、塾に問題があってアドバイザーを対応すると、そういうことではございません。去年の10月から塾開始したんですけれども、新しい仕事ということでスタート地点においては総務の方の総務政策係の方で対応していたところなんですけれども、やはりちょっと業務的にはオーバーワークになるということもありまして、そのへんを補佐すると言いますか、アドバイザーで塾の運営のある程度の部分、このアドバイザーをお願いしたいなということで、新しい仕事で業務量が増えた分に対する策だというふうに考えていただければなというふうに思います。</p>
<p>議 長 保健福祉課長補佐</p>	<p>保健福祉課長補佐 アドバイザーの配置の件なんですけど、4月からこども園がスタートしまして、療育部門もスタートしております。今、先ほど課長が言った6名なんですけど、上ノ国と併用している方が6名中2名、厚沢部町単独で今通い込んでいる子が4名。上ノ国にだけにいらっしゃる方が2名、全部で今うちには8名の子どもが療育担当しています。療育の関係するお子さんはですね、非常に複雑な悩み、色々な状況があります。それは子どもそのものもそうですし、家族状況ですとか、そういう時にですね、何て言うんでしょう、一緒に考えるっていう教育的な視点とか、そういう面では、今、保健師1名と専任の保育士1名、2名で療育の方やっていますが、なかなか困難事例とかは、悩むことも多いんですね。そういう時に一緒に考えてもらえるっていうところでは、教育</p>

<p>議 長 山 崎 議 員</p>	<p>的な視点、経験豊かなアドバイザーっていうところでは非常にこの配置は心強いものだというふうに思っております。</p> <p>2番、山崎議員</p> <p>やっぱりねえ、人員に限られた中でね、いろんなところに手を伸ばして直営でやるってことは、建前はいいですよ。だけど、実際今副町長が言うふうみたいにしてね、やっぱり係がね、負担が多くなるわけですから、無理なんですよ。ですから、やっぱりこれからはやっぱりそういうようなやっぱり考え方は改めた方がいいという感じがしますということと、先ほどバスの関係で前年がこういうふうにして予算つけたから今年もやります、ということなんだけれども、だけど100パーセント特別交付税きたものをストレートにいくっていうこと、だけど、国も無駄なことやってるなど、なんも乗っていないバスただ走って歩いているんだよ。会計監査員なにやってる、毎度見たらいいべなと思う、本当に。本当に乗ってないですよ。そしたらやっぱり例えば便数を減らすとかね、小さなバスにするとかそういうことではなくて、とにかく走るってことなんだね。だから、幸いにして町からの持ち出し無いわけですから。まあまあってことあるんだけど。それもまたバスも走らねえ町っていうふうになれば、これもまた、別な問題も発生すると思うんだけど。なにかしらやっぱり、逆にバスに乗ることによって先ほどプレミアム商品券でも1枚あげるとかって、何か考えるとかってそういうことしないで、なんか生活維持云々バスって言うてるけども、無駄なことやってるなって思って考えてますけども。町長、先の見通しってどうなるんですかね。これどういうことですか。</p>
<p>議 長</p>	<p>町長</p>

町長	このバスの関係でございますが、今、山崎議員が言われるように、正直言って私も同感であります。ただ、町がお金を出して運行するというふうな考え方は毛頭持っていません。これが町費でやりなさいってことならば、全部廃止します。これはもうオンデマンドバスでもなんでも方法あるわけでありますから、で、厚沢部の町に合うバス体制っていうものは当然あるし、これは今山崎議員言われるように国が100パーセントもってそしてやっている運行事業ですから。これは我々も無駄だなど思いながら、何人かは利用してもらっていると思っております。基本になっているのは幹線、国道、大成町から函館まで走るこの幹線が基本になってますから。このバスの運行の補助金については。そんなことですね、我々稲見から、あるいは館町から来ているバスがほとんど皆無の状態より見ていません。そんな中でですね、これから高齢者の方々、足が無い方がバスを活用できるのかどうか、こういうもの色々検討しながらですね、バスのこれ、国がやれって、じゃあやるより方法無いわけですから、今進めてますけども。そういう考え方として国の負担がなくなることになりますと厚沢部町は別の方法考えると、こういう考え方でおります。
議長 山崎議員	2番、山崎議員 今のバスの関連でありますけれども、町長、これは例えば運行の時間帯とか運行方法とかがってというのは、例えば行政と協議をできるとかってそういうような状況下にあるんでしょうか。それともまた、函バスの方で一方的にこういう走る具合をあんた利用しなさいというようなことなんでしょうか。それとも例えばお互いに協議をできるってならば例えば通院とかね、病院に通う時間にバス運行してもらおうとか、例えば、場合によっては1日に1回買い物バスでもね、とって

議	<p>いうそういうような形で利用してもらおうとか、そういうのは色んなアイデア出てくるんだと思うけど、ただ、今の時間帯であればそれに乗るって言ってもそれになかなか乗るときなかなかないわけですから、そのへんの柔軟性って言うのかそういったもの全然ないわけでしょうか。行政が入って協議できるような状況下はないんですか。</p>
副町長	<p>副町長 檜山のバス運行の協議会というのがあります。ありますので、そういうところで協議する場はあるということでございます。ただ、前も何回か答えた覚えあるんですけども今の函バスの走っている時間帯につきましては、町でも買い物と病院、あと高校の通学の交通を考えた協議会を立ち上げて、検討した結果、基本的には今函バスの走っている時間帯が一番ベストに近いということでございますので、それなりにきちんとした時間帯では走っていると。走っているけども、マイカーで送ったり、なんかしたり、あるいは社会福祉協議会の福祉施策に乗ったりということでございますので、もしもオンデマンドやろうとしてもだいたい同じような時間帯を走ることになります。</p>
議	<p>長 議事の途中ですが11時15分まで休憩します。(11:04)</p>
議	<p>長 休憩前に引き続き会議を開きます。(11:15)</p>
議	<p>長 歳出の質疑を継続します。1款 議会費から3款 民生費まで、ページ数は18ページから23ページまでの質疑ありませんか。</p>
議	<p>長 それでは、次に4款 衛生費から7款 商工費まで、ページ数は24ページから29ページまでです。</p>

<p>議 長 上 戸 議 員</p>	<p>7 番、上戸議員 ページ数にすれば 27 ページになりますけれども、農業振興費の畑作構造転換事業費補助金 588 万 2 千円について、伺いたしたいと思います。説明資料を見ると、種子馬鈴薯の生産力向上と小豆の密植栽培と、二つの項目になっているんですけれども、どっちに使ってもいいというふうな補助事業ではないと思いますので、それぞれの内訳があったらそれぞれの金額を教えてくださいということです。それと、種子馬鈴薯の生産力向上については原種馬鈴薯のみ対象だというふうに聞いたんですけれども、これは一般の種子馬鈴薯を対象にした補助事業はないのか、あるのか、そのへんも含めてお願いしたいと。それと、助成方式ですけれども、ここに説明資料に農薬の使用回数によって補助金くれるんだということで、実際そのような把握ができるのか、それとも面積によって助成金を交付するのかと伺いたしたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>議 長 農 林 商 工 課 主 幹</p>	<p>農林商工課主幹 ご質問いただきました、畑作構造転換事業につきましては上戸議員がご質問のとおり資料ナンバー 3 の一番上段にありますとおり、種子馬鈴薯生産力向上、また、小豆の密植栽培、この二つの項目になってございます。まず、それぞれの金額の内訳についてでございますが、まず、種子馬鈴薯生産力向上が 172 万 6 千円、端数がありますのでちょっと合計変わるんですけれども、あと小豆の密植栽培につきましては 415 万 5 千円ということになってございます。また、その交付につきましては面積当たりで単価が決まっております、種子馬鈴薯生産力向上分につきましては 10 アールあたり 8 千円、小豆の密植栽培につきましては 10 アールあたり 4 千 200 円というような積算根拠になってございます。まず、種子馬鈴薯生産力につきましては、おっしゃ</p>

るとおり原種のみが対象となっております、採種につきましては対象外です。これは国の補助事業の制度の中で原種のみが対象となっております、そのような形になってございます。両方の事業間でやりくりできるかという話でございますが、これはできないことになっております。予算としてはそれぞれ一括で計上しておりますが、補助申請としては別々になってございます。また、実施団体も種子馬鈴薯の方につきましては農協が事業主体、また、小豆につきましては檜山南部畑作振興会が事業主体となって、それぞれ違いますのでそのようなやりくりは出来ないような形になってございます。以上です。すいません、ちょっと答弁漏れが。あと種子馬鈴薯の件で、この取組みっていうのは罹病株の抜き取り回数を増やすのと農薬散布の回数を増やすということでご質問のとおりでございますのが、そちらの把握につきましては確認野帳ということで農協が主体となって確認することになるんですが、原種の確認というのは検査員がおりますので、そちらの方が確認するということになっております。以上です。

議 長
上 戸 議 員

7 番、上戸議員

実は、内訳を聞く前に、種子馬鈴薯の方が金額が多いのかなというふうに思ってたんですけども、こういうあの説明資料でも予算付けがなされているのであれば、できればそのように分けた中での資料を作っていただきたいというふうに思います。それと小豆ですけども、もう作付け時期終わったのかどうか、そのくらいだと思うんですけど、どのくらいの面積、全体で。先ほどは助成の対象が10アールあたり4千200円と聞いたんですけども、面積はどのくらい確定、これどうなんですかね、試験なのか、実際にノーマルでやらせる事業なのかそのへんも含めてちょっと伺いたいなと思います。

<p>議長 農林商工課主幹</p>	<p>農林商工課主幹</p> <p>まず、資料の件につきましてはやはり記載内容が簡略化しすぎて分かりづらかったと思いますので今後対応していきたいと考えております。また、小豆の面積でございますが、まず、これ国への補助申請の計画段階での面積なんです、合計9千893アールということで採択されております。あと、密植栽培につきましては現在密植栽培に取り組んでいる農家はございません。ただ、これにつきましては十勝などで実績がございますので、それを例にならって密植栽培をしていくというような形になっております。これは実証実験とかではなくて、あくまで作付けして、少しでも収益を上げるということで補助対象となってございます。以上です。</p>
<p>議長 山田議員</p>	<p>5番、山田議員</p> <p>29ページの4目うずら温泉管理費についてですが、こちらうずら温泉の管理費ということで、その他の財源が308万9千円となっておりますがこれはどこから来ている財源なのか、また、二つありますが、うずら温泉浄化槽改修工事費とうずら温泉吹抜けダウンライトLED化工事費とありますが、このその他の財源はどちらの方に使う財源なのでしょうか。</p>
<p>議長 農林商工課主幹</p>	<p>農林商工課主幹</p> <p>うずら温泉改修費のこの財源につきましては、議案の16ページをご覧ください。雑入になりますが、省エネ型浄化槽システム導入推進事業費補助金ということで、こちらは歳出29ページの浄化槽の改修工事費に充当されております。全て308万9千円、浄化槽の改修工事費に充当されております。この補助金につきましては、浄化槽自体を改修するのではなくて、二酸化炭素の低減を図るため、環境性能を向上させるために交付金が交付されるような形になってございま</p>

<p>議 長 香 川 議 員</p>	<p>す。吹抜けダウンライトにつきましては全て一般財源ということになります。以上です。</p> <p>6 番、香川議員 補足資料のナンバー 3 になります。農に生きるパート 7 策定と書いてあります。それについての内容をお聞かせください。</p>
<p>議 長 農 林 商 工 課 主 幹</p>	<p>農林商工課主幹 まず農業発展計画策定についての内容でございますが、こちらの方町長の執行方針の方にもありましたとおり、今年度中に作成し、完了させる予定です。そしてそのスケジュールにつきましては、今回補正予算計上しておりますが、その補正予算を議決いただいた際には今月中にまず第 1 回目の委員会を開いて審議していく予定でございます。完成は 1 2 月までの完成を目標としまして、その後に、農業者団体などにその内容を周知していきたいと考えております。この委員会につきましては議案では 1 0 人ということで予算計上しておりましたが、無報酬の方がいますので、関係機関の方を含めて 1 4 人の委員構成で審議していきたいと考えております。以上です。</p>
<p>議 長 香 川 議 員</p>	<p>6 番、香川議員 先ほど説明していただきましたが、例えばパート 7 あるということは、今までパート 6 までやったと思うんですけど、そのパート 6 までどのような事業をやってきたかお聞かせください。</p>
<p>議 長 農 林 商 工 課 主 幹</p>	<p>農林商工課主幹 今回、おっしゃるとおりパート 7 を作成しまして、パート 6 までの内容ということのご質問でございますが、まず、パート 6 につきましてはもちろんパート 5 までの振り返り、そして、現状と課題の分析、そしてこれからの基本方針ということであっております。そのなかでやはり作</p>

	<p>物別の所得、営農累計のまとめや土壌改良の取り組みということでまとめられております。で、パート7につきましては少し今農業の情勢も色々変わってきておりますので、さらにちょっと深掘りしまして、前段の部分は同じなんですけれども、営農類型につきましては、例えば新規就農モデルの営農類型をつくるだとか、あと、農業就農者向けの取り組みにつきましては、今普及し始めるスマート農業の取り組みなど、そういう新たな取り組みも踏まえまして計画を作成していきたいと考えております。以上です。</p>
<p>議 長 副 町 長</p>	<p>副町長 農に生きるの計画につきましては、事業をやるための計画ではございません。いわゆる農業の方向性や指針を定める、こういうものを目指していこうねというような計画でございまして、パート6まで進んできましたが、そこでパートごとに何かの事業をいれたという計画ではございません。</p>
<p>議 長 高 田 議 員</p>	<p>9番、高田議員 ちょっと今の関連で聞きたいんですけど、去年の決算の時に聞いたと思うんですが、実はパート2というのが、何年だったかな、27年で確か終わってたんですよね。27年で終わってすぐ次のやつが無くなって、それで去年聞いた覚えがあるんですけども、途中で6まできたのに今7が空いて、今やるということが何なのか。でないんでないかなと感じるんで確認したいんですけど、どういうことだったんですかこれ。</p>
<p>議 長 農 林 商 工 課 主 幹</p>	<p>農林商工課主幹 高田議員のおっしゃるとおり、パート6につきましては27年度までが計画期間で平成27年</p>

度にパート7を作成する予定でございました。正直、原因の特定は難しいんですが、行政の事務としましては、やはり2度とこういうことが無いようにきちんとスケジュール管理をしていく前提で現在取り組んでおります。具体的に申し上げますと、先ほど香川議員のご質問の中で、12月までの完成ということでスケジュールを組んでおりますが、昨年ご指摘いただいていたのも事実でございますので、その後、すぐに動き初めまして、実は本日までに、すでに5回ワークショップを開催しまして、すでに作成の段取りというのは終えております。今後は委員会、公式の場をもちながら、議論していくということで、スケジュール管理につきましては現在きちっと行っておりまして、完成に向けて動いているところでございます。ただ、やはり完成しなかったという事実がございますので、そこにつきましては行政として、たしかに佐々木議員からご発言あったとおり少しスケジュール管理の甘さだとかその認識の甘さっていうのがあったのではないかと考えております。以上です。

議長
中山議員

1番、中山議員

今高田議員と香川議員から、農に生きるパート7について何かしら我々も今我々が空白期間があったってことをちょっと残念なんですけれども、果たして必要性というのはどの程度町として、この必要性があるのか。そのへんについては、町の部局の方でそういう話し合いを設けたのかどうか、ということをもまず1点聞きたいなと思います。我々もパート1からずっと携わってる農家もあるわけですから。でも、今の現状を考えた時に、パート7がなにを目指すのかなっていうのが大事な計画ですので、そういうおおまかにパート7では取り上げていきたいというようなことあったら説明していただきたいと思います。で、もう1点はですね、これは衛生費なんです

<p>議長 中山議員 議長 農林商工課主幹</p>	<p>けれども、衛生費の中で今、繰出金出ているわけですけれども、この内容をちょっと説明していただきたいんですけれども、これは国保病院の事業費の特別会計の方で聞くべきなのかなと思うんですけれども。もし、ここで説明していただけるのなら説明していただきたい。繰出金の内容です。</p> <p>25ページですか。中山議員、ページ数は25ページ。</p> <p>25ページです。</p> <p>農林商工課主幹</p> <p>まず、ご質問1点目の農に生きるの関係でございますが、役場の中でその必要性について意思疎通、また、議論がなされたのかということにつきましては、もちろん町長にも確認しておりますそれは作っていくと。また課内ワーキンググループのメンバーの土地改良区、農協、普及センターなど入って、皆さん意思を統一した中でワーキンググループを開催し、今作っていく段取りとなっております。今回作る農に生きるにつきましては、今までとどう違うのか、また、何に向けて作るのかということが議論されてくると思いますが、前回のパート6では大きなテーマとして安心、安全な産地づくり、生産性と品質が作る向上づくり、もう1点力強い経営体づくり、この3点を目的として方向性を持ってやっていたところでございますが、今回この方向性を転換するわけではありませんが、やはりもっと未来に向けたメッセージになるように力強い経営体づくりというのを未来に向けた経営体づくりということで変えていきたいなと考えております。その具体的内容につきましては先ほど答弁した通り、これから先はどういった農業が発展していくのか考えた時にはもちろん、既存の技術や土地改良、土壌改良も大事ではございますが、</p>
---------------------------------------	--

<p>議 長 病 院 事 務 長</p>	<p>新たな技術、さきほど言ったスマート農業、また、これからの担い手、労働力の確保をどうしていくかっていうところがテーマになってくるのかなっとは思っております。以上です。</p> <p>病院事務長</p> <p>25ページの繰出金の内容についてのご質問であります。今回こちらの補正の内容でございますが、補助金、運営費分、674万8千円につきましては医師1名採用にかかります人件費、来年3月までの本年度分の人件費でございます。その内容は給与、手当等でございます。あと、この1名採用に伴いまして、今まで週末、月に2回、外部の病院の方をお願いしておりました非常勤医師の派遣について、そちらの経費、報酬、旅費、交通費等の減額した差額分を今回補正させていただきますのでございます。それから、出資金、建設改良費分466万9千円でございますが、こちらにつきましては、現在、検査室の方にあります機器で血球数計数装置ということで、分かりやすく言うと血液の検査をする機械で、血液の赤血球の数であったり、白血球の数であったり、この機器につきましては日常の検査の業務の中でルーティーンとして、メインで使う機器でございます。平成23年度に導入後、年数経過とともに状況が経年劣化ということでエラーの数も多くなってきた状況でございます。最近特にエラーの頻度が発生度合が激しくて、機械を立ち上げるのに患者さんを待たせたりとか、そういう状況もある状況でありまして、今回、更新の要望をさせていただいております。それと、入浴介助用に使っております乗せ替え機能付きのストレッチャー、入浴する患者さんを入浴させる場所まで乗せていくストレッチャーですが、こちら今故障したものをだましまし使わせている状況ですので今回、要望させていただいたという内容でございます。</p>
--------------------------	--

<p>議長 中山議員</p>	<p>1番、中山議員</p> <p>1点目の農に生きるパート7ですけども、今、主幹の方から説明したような中でやはり実現できる計画と言いますか、内容でなければあまり効果、見えてこないんでないかと。今、色々と論議されているスマート農業っていうことで非常に注目されてますけども、町としてそのスマート農業に対しての考え方どう思っているのか。これからそういう計画の中で、厚沢部農業の進むべき道がどういう方向でっていうようなことをある程度指針を立てていただきたいなというふうに思います。できる限りの中で可能性のある計画を立てていただきたいというふうに思います。2点目のこの衛生費の、今事務長から説明あったんですけども、これは内科医を1人確保するというようなことを聞いているんですけど、このあと議員協議会で中身が出てくるみたいですけども、これはそのへんの内容についてはどうなっているんですか。</p>
<p>議長 農林商工課主幹</p>	<p>農林商工課主幹</p> <p>まず、スマート農業の方向性ということについてでございますが、町としましては、ご存じのとおり29年度にそのスマート農業の大前提となるRTK基地局、要するに電波を使うための基地局を整備させていただきました。また昨年度、平成30年度の取り組みとしては、こちらは補助金の方になりますが、GPSガイダンス及び自動操舵の導入ということで支援させていただいております。今後じゃあどういう技術が導入されるのかというのは技術の方が日進月歩ですので正直見えない部分もございますが、今農協さんの方ではハウスの中での温度管理だと思いますが、そういうような実証実験を行ったり、あとこのGPSガイダンス導入の際には農業者の方が中心となって農協が事務局をもって、スマートアグリ推進協議会というものを立ち上げておりま</p>

<p>議 長 病 院 事 務 長</p>	<p>す。この中の議論、私も出席して聞かせていただいたのですが、今後はドローンの活用だとか、マップデータの作成とか色々農業者の方はこういうことをやってみたいというのを持っておりますので、果たしてそれが営農に寄与できるのかどうか見極めながら支援していくことが大事なことは考えております。以上です。</p> <p>病院事務長</p> <p>病院医師の関係のご質問でございます。中山議員のおっしゃられましたとおり、内科医1名の確保ということでのこの今回提出させていただいた予算でございます。今回この内科医1名確保という背景でございますが、働き方改革、いわゆるそちらの方の関係法律の施行に伴いまして、その中に当然医師の働き方改革というものもございます。具体的に申しますと、猶予期間も含めますけども2024年度までには医師の時間外労働の時間の上限、それが目標として掲げられている状況でございます。当町といたしまして、今回この医師1名確保ということで踏み切った背景にはそちらに備えまして、そちらに向けて医師の労働環境を整え、それと医師の確保を安定・継続的にしていくという意味から今回、こちらの提案をさせていただいたところでございます。以上です。</p>
<p>議 長 中 山 議 員</p>	<p>1番、中山議員</p> <p>主幹、パート7でぜひやっていただきたいこと1点あるんで、ということは我々もう歳で、70歳過ぎて感じるのは厚沢部の農地の集約をどうするのかと。この5年間でそれでは厚沢部の農地をどう集約して、後継者・担い手に譲るのかというような方策をですね、大事なことだと思うんですよ。どうしてそういうこと言うのかって、農地のいいところはみんな確保するんですけ</p>

<p>議 長 中山 議員 議 長 農林商工課主幹</p>	<p>ども、ちょっと悪い所なんかはあまりこう動かないと。で、各地区においても、今かなり言われていますけども、集約ができていないというような状況下にあるんで。この5年間で厚沢部の農地をどう守るのか。で、集約するのかということをごひですね、この計画の中で練っていただきたいなど。今、進んでいないのが現状ですので、そのへんを特に重点的にどう進めるのかやっていたきたいというふうに思います。病院方はまたあとで病院関係ありますので、その時にお聞きしたいと思います。</p> <p>答弁はいるんですか。</p> <p>農に生きるの方で。</p> <p>農林商工課主幹</p>
<p>議 長 山 崎 議員</p>	<p>確かに中山議員おっしゃるとおり、農地の集約、また農地を守っていくというのは非常に大事なことだとは考えておりますし、今のワーキンググループの中でも、やはり話題になっているのは集約がどうやって進んでいくんだらうかということ。また、もちろん集約が進んでいくことによって大規模化も避けられないような状況もありますので、そこにつきましてはやはり、大きな論点になることは考えております。こういったことも、先ほど副町長の答弁にもありましたとおり、農業発展計画の中で具体的に進んでいくのではなくて、その議論の中で具体的・個別的な施策をどうしていくかという、2段階での議論が必要かなってということも考えております。以上です。</p> <p>2番、山崎議員</p> <p>今、中山議員との関連もあります。発展計画なんですけど、今まで6までずっとやってきたと。</p>

その他に町は総合計画っていろいろなのもまた立ててるんですが、何かしら私はその計画どうりには全然いってないなというふうに思ってます。ですから、今農業を取り巻く中で何が一番問題となっているのか。実際にそうしたら、そういうね、実態をどこまで行政として捉えているのかということだろうと思うんです。私どもは、議長がよく言われるんですが、かつては日高の平取っていう町に視察行きました。平取は転作始まった当時、トマトに切り替えしたんですよ。そして今は最大のトマト産地作り上げてしまいました。そういうなことで、まず本町は基幹産業は農業なんだけども、なにかしら、これっていう柱が無いんですよね。今、上戸さんが種芋の関係しましたけど、種芋だって今ぐらついているんですよ。もう供給過剰っていうようなことでエスがいらぬとか、あとはエル、エムは重宝にするけど、あとその他は食用とかクズだよっていうような産地としてはそれでは立っていきませんよ。それとあと今、中山さんが言うように私どもの集落はあと何年かで限界集落と言うか、集落無くなってしまふかもしれないんですよ。いないですから、人が。そのへんるところどうとらえているのかってということだと思うんです。だからそのへんのところの問題点を計画の柱としてまず、立ててほしいと思うんですよ。それと同時に、やっぱり、10人とか14人とかってそういう特定の間人ではなくて多くの人方の取り入れた中で計画を作り上げてほしいなと思ってるんです。なぜかというとなんかやっぱり関わることによって人が動くわけですから、そういう体制づくりは検討してほしいなというふうに思ってます。それからもう一つはね、この活性化センターのですよ、鶉にあって私どももよく土壌分析とかしてもらっているんですけども、あそこにいる小川さんという技術者がいますけども、私の存在意義がねえんだって口説いてるんですよ。なぜならば、指名がかかんねえって言うんだよね。どうだ

こうだっという声がかからないって言うんですよ。だから、動きようないって言うんですよ。ただ、花作ったりいろんなことしてくれますけども、ただ、技術者ですから、私ども色んな、アスパラのハウスに来てくれとかって声はかけますけれども、じゃあよそのところ全然声かからないって言うんですよ。そういうこと表示していますか。行政として。川村さん、川村っていう技術者います、それから堂下君いますよね、職員。だから、そういうようなことで土壌分析の装置はね購入するのに賛成はしますよ。ただ、その分析結果がどうしたらいいのかっていうことを指導していかないと分かんないですよ。それがね、ないんだから。そういうようなことで、沼下君、津野君、今の厚沢部農業の最大の問題ってなんだと思って、あんた捉えていますか。まず、そのへんからきちっと固めていかないと計画できないよ。私そう思いますけど、どうですか。

議 長
農 林 商 工 課 主 幹

農 林 商 工 課 主 幹

まず、1つめの質問につきましては、農業発展計画を作っていくにあたって、どのような問題に議論するのかということに集約されているのかなと思います。確かに今おっしゃったとおり、集落の問題、また、主な作物をどのように持っていくのかというような問題ありますが、そこで私今答弁するというよりは、その議論の中で議論していくようにしたいと思います。また、活性化センターの現状でございますが、今年度から指導員を1名配置したということで、その動きの問題ということにはなるとございますが、今回、土壌分析器というような大きな予算を挙げさせてもらっております。土壌分析器につきましては欠かすことのできないものと考えておりまして、また、それにつきましては活性化センターの方で、きちんと処方箋を作るなりなんなりして、きちんとその内容をお伝えして行って、それが営農改善に結びつくっていうのが理想だとは

<p>議 長 山 崎 議 員</p>	<p>思いますので、そのへんを再度内部的に確認していきたいと考えております。以上です。</p> <p>2 番、山崎議員</p> <p>もう一つはですね、やはり農業の振興にはやっぱり経済を担っている農協があるわけですから。この計画に対しての農協との整合をきちっと捉えていかないと、農協は農協、行政は行政、こういうような動き方していればやっぱり当然いい結果が出ないと思うんです。今、公の声としては農協何やってんだべねってそういう声が強いですよね。見えないんですよ、もう農協が、組織大きくなってるわけですから。かつての厚沢部農協でなくなっているんですよ。だから、そのへんのところもあるんでやっぱり、こっちのほうでひっぱりこんでやっぱり、厚沢部農業をどうするのをやっぱり、厚沢部基幹支店の人方の力を借りながらも、引っ張り込むような形が私はベストだと思っています。ですから、そういうことで発展計画を大いに彼らにやっぱり、出てきてもらって、やっぱり一緒にやろうってそういう呼びかけをしながらですね、互いに作り上げてほしいなというように要望をしておきます。</p>
<p>議 長 農 林 商 工 課 主 幹</p>	<p>農林商工課主幹</p> <p>農業発展計画と農協との関わりということになると思いますが、まったくもって山崎議員おっしゃるとおりです。現在、5回開いたワーキンググループにつきましては全て農協の職員2名はいつでももらって今現在農協で取り組んでいること、町で取り組んでいること、また、普及センターさん、また、土地改良区、全ての機関で情報交換しながら策定を進めているような状況でございます。以上です。</p>
<p>議 長</p>	<p>町長</p>

町長	<p>先ほどから、農業発展計画の作業から、あるいは途中でとん挫したところから、色々と今、行政のミスと言いましょか、非常に申し訳なく思っているところがございます。この農に生きるについては昭和61年から厚沢部町はこの計画に取り組んできた。そして、その時代時代に合わせた計画、今ごちゃごちゃ色んな事しゃべりましたけども。実はこれ農家所得をどう上げるのかという狙いの基本計画であります。これが農に生きるの本当の本質であります。ですから、パート1からずっときてますけども、パート6あたりでまだ厚沢部の農業が400万円の所得を上げるというような計画が実態でそういう計画だったわけです。今、ですから厚沢部の農業は400万円でどう落ち着いた生活できる。とんでもない計画になっているわけですから、もう今の実際の所得に合わせた、特に営農類型というものが各分野においての、十何項目、かなりあるわけですが、営農類型を作ってそれぞれの農家の経営基盤に合わせて作物の種類、それから輪作体系こういうものを合わせて農家は参考にして使ってくださいということで、この営農計画として農家に配布されたものです。ですから、こういうふうに見ますと中山議員からも話ありましたけれども、前々からこの農地の集約化というのは大きなテーマでありますけれども、なかなか国が厚沢部の農業というのは他町から比べてみても農家の減少率が低いところで、これ農家が減るということは集約化につながることであります。これ隣の人が経営面積増やすとか、そういうことがなかなかできない。80歳、85歳になってもまだ農家やっている、厚沢部は。こういうものが今の集約化ってことに弊害をもってるものであります。そんな中でその原因は何かと言うと、厚沢部は畑にでなくても農業ができるとう町であります。だから、歳いっても、居間に座って農業ができるんです。公社の方に作業委託しながら。大きな作業はしませんよ、従って、植え付けから</p>
----	--

収穫まで全部やってもらえる時代ですから、そうなるまで農家は機械も買わなくていいし、こういうことの進めの中で大きな改善をこのパート3あたりから、平成9年あたりからの中でそういう集約化というものを進めてきた。そういうことですから、農業発展計画はそれぞれ農家は自分の規模に合わせた本当の総合計画というような理解の中で農家をもっともっと参考資料にして使っていただければ有効になるだろうと、こういうふうに思っております。我々、この農業発展計画が厚沢部町は農業の町ですから、発展計画無くて農業なんて言える町ではありません、はっきり言って。これは途切れたなんて本当は本来そんな職員はクビの話です、本来。私は常々そういうように思ってますけど、まったく、この厚沢部町の心臓とも言える計画が実はありませんでしたなんて、これはもう、当時の沢口松雄町長あたりなら即クビ、こういう話になります。それほど厳格にやってきたもの。それが最近、こういうものが途切れたっていうことに私も大変、憤懣、やり方ないものもありますけれども、今、あわててこの7に取りかかっているというふうなことでございます。いずれにしても、農に生きるパート7については、色々なこれからの農業というものについては今までと違って大きな、飛躍した農業の進めになります。ですから、そういうことを十分活かした農業にしなくてはなりません。こういうふうに思いますし、今、担当の方では色々、農協だとか関係機関集まってのこのヒアリングしているようでもありますから。本格的に製本されるまでには我々もぜひ目を通したいこういうふうに思っております。いずれにしても、この農業発展計画が無くて、農業が生きなさい、どうのこうのという話にはもちろんならないということからですね、今、このパート7を急いで作るというふうな方向で今やっております。なお、山崎議員が言われているように、このJAとの連携というのは、これ当然の話であります

が、ご案内のように、統合の前は50億円の生産をあげた厚沢部町ですが、統合したらなんで40億円になるのか。こういう問題がもうちょっと底を下げて、これは農家と議論すべき問題であります。これはただ、営農という指導分野は行政ではなくて、これは本来は農協がプロを置いて指導するというのが本来のやり方でありましてけれども、いかんせんこの厚沢部はちょっと状況が変わってきたふうな気がします。特に農家のみなさん方は新しい作物にどんどん進んでいる中で、農協は取り扱わない、こういうふうな物もあります。こういうことからして、農協と農家はかなり分離した考え方になってきたなと考えるわけですね。ご案内のように、農協には農業指導できる職員が何人もいません。そういう中で農家に指導してあげなさいということなかなか大変だと思います。ですから、こういう農に生きる基本計画の中で農家には参考にしながらこれからもやってもらい、いうふうなことになると思います。いずれにしても、この農協と連携が悪いというのは町の農業は決していい方向には行きません。そういうふうに思いますので農協の職員もどんどん役場に入ってきて、そして、役場の職員も担当も農協にどんどん入って以前のように連携のとれた、そして農家指導のできる、そういう体制にしたい。こういうふうに考えております。

議長
山崎議員

2番、山崎議員

あとこれは誰も口にしないのであれば、貴重な担い手というのは厚沢部にあります。ところがねえ、その担い手さんが結婚しないんですよ。私はね、結婚しない人は担い手でないっていうふうに言っているんですよ。なぜならば、その後が続かないから。だからね、やっぱしね、この計画の中に結婚を進める何かの策を入れた方がいい気がするけど、そうでないと途切れてしまうよ。どうすんだね。これは町長あたりは専門にこれ、何か促進会でも作って何かしねえとね、

<p>議 町</p> <p>長 長</p>	<p>機会が無いのか、嫌なのか分かりませんが。そうでないと、継続していきませんよ、農業が。それともう一つ、本町はどうしても法人とか組織とかそういうような動きがあんまりないんですよね。やっぱし家族経営っていうのが主になるんでしょうかね、規模が小さいからってこともあるんだろうけども。だけど、みなさん、ご案内のとおり八雲町でも25億円もお金かけて道南一の牧場を作り上げたっていう、そういう動きが一方では出てきているわけですから。だから私はある意味では、中山さんと共同出資して会社組織作って鶏全部、1つの会社作ってやるど、とかっていう、そういう面白い発想持った方がいいかもしれないと思うんですよ。そんなこと参考にしながらよろしくご指導願いたいと思います。</p> <p>山崎議員、質問の主旨がよく分かりません。誰か結婚の関係で、副町長か町長。</p> <p>厚沢部町にとっては大変担い手問題というのは大きな問題であります。ご案内のように今まで見てきたばかりではありません。これかつて農業委員全員、結婚相談員にして農家に嫁さん探してこい、こういう時期もありました。なかなかこれが実を結ばないのが実態であります。なお、また、近々でありますと今年の2月に今、こういう都会の女性を集めて厚沢部の農家の若いのと一緒にして婚活やろうということで真冬に実は緑町でやりました。残念ながら町会議員の方は一人だけ参加したという、こういうふうな中でですね、なかなか婚活の話を議員さんから言われるとどうも本当にそういう心配しているのかとってというのがちょっと疑問になります。いずれにしても、これからはですね、だれかれと言わずやっぱり専門員に、奥さん方で結構。農家の奥さんでも、サラリーマンの奥さんでも結構。そういう奥さん方を専門員に委嘱して、そして娘を見つけてきて、結ばれたら一つ報奨金をやろうと、こういうふうな思いもしなければ、なかなかこれ</p>
-------------------------------	--

実効性が無い。こういうふうに思います。ですからやっぱり、今山崎議員は町長が先頭になって嫁さんもらって歩くというのは絶対できる話でもないし、だからやっぱり専門的な方を委嘱して、例えば3方面見ながら、町外からとにかく嫁さんを引っ張ってくるとこういうふうな方策でもしなければ、なかなか実を結ばないな。特にこの農家のせがれは集まりに出てこない、全くそういう対策に物事進めて、こっちが一生懸命開催しているのにも関わらず農家のその対象者がだいたい入ってこない。こういう、不可思議な現象があるわけでありまして。あと、そういう農家の担い手を作るためにはその集合事業というのがどういうものがあるのか、これからもやはり、色々な地域ではやっているわけですから。そういうものも確認しながら、厚沢部もやらなきゃいけないなど、こういうふうに思っております。ただ、実際の話言いますと、今、農家の中で残ってる方々は非常に高齢の成年ばかり多いと。そういう方でなかなか難関だなというふうには思ってますけども、うんと若い人ならばねえ話のしようもあるんでしょうけども。これまた、35歳、40歳になった人に、若い人お世話するのも大変だなと思いつつも、今、担い手という農家の問題ではそうは言ってはいられないというふうなことを考えますので、色々な方策をしながら婚活事業をしたい、そういうふうに思っております。

それでは、議事の途中ですが、休憩して昼食といたします。午後は1時から再開いたします。

(12:15)

午前中に引き続き会議を開きます。(13:00)

歳出の質疑を続行いたします。4款 衛生費から7款 商工費まで、ページ数は24ページから29ページまでです。

議
議

長
長

<p>議 長 高 田 議 員</p>	<p>9 番、高田議員 歳入のところで聞いたんですけど、森林環境譲与税ありますね。これ基金積立で歳入と全く同じ額が積立でなっているってことは、譲与税で町に入ってきたお金がそのまま基金になるってことですよね。あとで条例が制定されるってことで、そっちもあるんでしょ。この内容について、今までやってきた林業振興費ありますよね。その部分と重なる内容になるのかそれとも全く違う内容のことをやんなさいよという、簡単に言うと譲与税、交付税みたいなもんですよね。いうことになるのか、このへんの内容について説明していただけますか。</p>
<p>議 長 農 林 商 工 課 主 幹</p>	<p>農林商工課主幹 森林環境譲与税の関係につきましては、歳入・歳出積み立ての関係はただいま高田議員からご質問あったとおりで間違いございません。それで今後のどういった事業をやるのかっていうことも関わってくるのかと思うんですが、基本的には制度の主旨としては既存の事業へ単なる充当というのはできないと解釈しております。そういった中で、今回は補正予算に計上していないんですが、今後補正予算に計上しつつ、その使い方を考えていくようなことになるかと思えます。以上です。</p>
<p>議 長 高 田 議 員</p>	<p>9 番、高田議員 っていうことは、今、積立で、さっきの説明の中で、さらに増える額が積立になるっていう、譲与税来るってことを今説明しましたよね。ってことは、それは今年から、来年から、もう積立でたものを基金取り崩して必要な事業に使っていくと、いうことをやっていくということなんだね。</p>

<p>議長 農林商工課主幹</p>	<p>農林商工課主幹 確かに今年度は国から譲与税を受け入れて、積立てるところまで、ただ、取り崩し、また、歳出予算の計上するのは今年度からも可能ですので必要があれば今年度さらに補正予算で計上していくような形で考えております。以上です。</p>
<p>議長 松村議員</p>	<p>4番、松村議員 27ページなんですけれども、ひまわりの丘公園遊歩道舗装補修等工事費になってるんですけども、この公園は今回65メートルぐらいの柵をやってるんですけども、あそこに前のゲートボール場あるんですよ。あそこの部分何メートルか柵が無いんだよね。だから、なぜあそこだけやらないのか。それとまた、遊具もだいぶ古いんですよ、あそこ。何年も経つんですけども。そのへんの予算も何もないんで。あそこはどのように考えているのかちょっとお聞きしたいんですけど。</p>
<p>議長 建設水道課長</p>	<p>建設水道課長 ゲートボール場の方はですね、特に法面がきついているわけじゃなくて、危なくないというような判断で、去年からやってきたのはゲートボール場の手前からやってき、今回やった方は子どもたちが遊ぶ近くになりますので、それで今回追加して柵をつけたところでありまます。あと、新しい遊具については総務課の方で、新年度予算の方で入っていたと思うんで、総務課長の方から答えがあると思うんですが。</p>
<p>議長 総務政策課長</p>	<p>総務政策課長 公園内に今、当初で予算で計上させていただいておりますけれども、2基なんですけれども、</p>

<p>議長 松村議員</p>	<p>一つは何ですか、高齢者用のと言いますか、フィットネス風の遊具、それから子どもさん用の遊具2基を予算上計上してございます。</p> <p>4番、松村議員</p>
<p>議長 建設水道課長</p>	<p>まず、柵の件なんですけれども、緩くて危なくないからつけないということなんだけれども、あそこは近くに熊が出ているんですよ。あの柵は越えてくるかと思うんだけれども。あそこの近くに100メートルも離れないくらいに出るんですよ、小さい熊。まだ、道路とかには出てこないんだけれども。実際畑の中にいるもんだからね、足跡いっぱいあるから。裏の方もずっと奥の方、熊がいるんだよ、あそこ、もともとから。だから、小さくても柵をやっておけば狐でも狸でも出てこないんでないかなと思うんだけれども。そのへんはどういうふうに考えているのかな。やってもらいたいんだよ、本当はね。</p> <p>建設水道課長</p> <p>今現在、うちの方としては、先ほど言いましたとおり、危なくないというか法面が緩やかでどの先も平らになっていて危なくないという判断でしたけれど、議員が言われる熊とか、狸だとかっていう観点でいきますと、現状再度確認しまして、検討してみたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>他に4款 衛生費から7款 商工費まで質疑ありませんか。(ありませんの声あり)</p> <p>それでは次に、8款 土木費から10款 教育費まで、ページ数は30ページから36ページまでです。</p>
<p>議長 中山議員</p>	<p>1番、中山議員</p> <p>ページ数からいきますと33ページになりますけども、今回鶴小、厚沢部小の工事が発注され</p>

<p>議 長 学 校 教 育 主 幹</p>	<p>ております。で、この工事は大変大きな、963万円ということなんですけれども、この工事内容ってのはどういう工事内容なのか、前から大変雨漏りがひどいって言うようなことが言われてましたけれども、それを修繕するのか。両方ともどんな工事になるのか説明していただきたいと思えます。それから、文化財保護の方で、これ説明資料の2ページになるんですけれども、館城跡の保存整備事業の中で説明の中にAR、VRっていうのがあるんですけれども、どうも英語使われると、AR・VRっていうのはどういうものなのかと、その後大事なものは、基本計画の修正ってあるんだよね。どのような修正になるのか、その修正内容をお知らせ願いたいと思えます。</p> <p>学校教育主幹</p> <p>まず、厚沢部小学校・鶉小学校の改修工事費につきましては、厚沢部小学校につきましては体育館から渡り廊下にかけてですね、塗装がはげ落ちてましてですね、劣化が見られるということで、このまま放置するわけにはいかないという状況にありまして、その部分で今年度、体育館から渡り廊下部分にかけての屋根の補修・改修を行います。また、鶉小学校につきましては、校舎正面に塔がありますが、その付近から雨漏りがしておりまして、その雨漏りの水がですね、機械室に染み込んでいるという状況にありまして、この雨漏りの改修工事を予定するものでございます。</p>
<p>議 長 社 会 教 育 主 幹</p>	<p>社会教育主幹</p> <p>文化財保護費の質問であります。AR・VR、横文字でありましたけれども、日本語でいきますとARが拡張現実、VRが仮想現実ということで、どちらもスマホ等を利用して映像を見るという形になりますけれども、ARでいくと一番ポピュラーなのがポケモンゴーのような一部出て</p>

きて、それをスマホ等を利用して仮想現実の復元、例えば古典の復元したものを見れるようにするというような技術のことを想定しております。今回、館城跡保存の基本計画の修正っていうのはどういうようなことをするのか、ということですが、27年3月当時に、その当時の計画ができておりました。その中には、今言ったようなAR・VRを活用したような保存計画というものにはなっておりませんでした。ご存じのとおり、あそこの現地行きますとほとんど遺構が地下に眠っているような状態で、あそこに行くとき当時の館城の現状というのを容易に推測するのは難しいというふうに考えております。その中で現地において、当時ほどのようなものだったのか全体が具体的に分かるようにするにはやはりAR・VRを用いた中で皆さんにやはり情報提供の方がより分かりやすい整備になるのではないかと考えております。また、御殿については復元資料が不足しておりますので今の段階では復元しないという方向で今動いておりますし、その中で基本計画に沿ったものでなければ国費を利用した保存整備事業ができませんので、まずは基本計画をAR・VRを全体に含めた修正を行って、現地の保存整備計画を進めていきたいということになります。以上です。

議長
中山議員

1番、中山議員

1点目の工事ですけども、これは前からの問題で提起されてきておいて、それがまず、原因が全くつかめないと、どこから漏ってるかわからない、そういうようなことで鶉小の場合は、その工事もかなり危険な工事だというようなことでずっとこう投げられていた経緯あったんですけども、今回はこういうことで完全にその修理可能なのかどうか、両方共ですね、鶉小も厚小も。そういう中で、厚小はもう昨日の説明の中で40年ということですからかなり校舎がもう古くなってき

ているというようなことの説明、教育長からあったんですけども、そういう中での今回の修理ってのは果たして本当に修理できるのかどうか、ちょっと疑問に思うんですけども、ということは、なぜそのようなこと言いますかということ、鶉小の場合でも、来た大工さんが原因分らないって言うくらいの問題の大きい工事ということになりますので、果たして今回きちんと修理できるのかどうかちょっと疑問に思いますんで、そのへんについての見解をお聞きしたいと思います。それともう一つ。AR・VRは今分かりました。で、この地域の方と確かこうARでなんか1回懇談した経緯あると思うんですけども、その結果をもしAR・VRを実現するってことになったらどういう状態で現地に設置するのかどうか、今の状況でどのように我々がこう何と言うかこうなるよということを知るのか、それについて詳しくちょっと説明していただきたいと思います。

議 長
学 校 教 育 主 幹

学校教育主幹

まず中山議員ご質問の小学校の屋根の改修、これで大丈夫かという話なんですけれども、過去にもですね厚沢部小学校でいいますと、昨年、大きな教室部分の屋根の改修等やらせていただきました。で、あと残っている部分がですね校舎から渡り廊下にかけて、あと職員室の側の方もありますけれども、今、現状でですね、雨漏りが確認されている場所が渡り廊下から体育館にかけてというところで、この部分についてはですね、実際に雨漏りの被害がって、深刻なものではないかと思いますが、さびですとか腐食がかなり深刻な状況で事前に対処するということで補正予算を挙げさせていただいているものになります。また、鶉小につきましては、鶉小も27年度からトイレの屋根の改修ですとかをやっておりますが、今回、塔って言いますか、校舎の塔になり

議 長
社 会 教 育 主 幹

ますが、平屋でなくて塔が建っておりまして、その部分と屋根の接続部分が雨漏りだという判断をしております。で、これをやれば大丈夫なのかというご質問なんですけれども、まずはその被害が確認されている部分につきまして早急に改修をしてですね、状況を観察したいと思っております。以上です。

社会教育主幹

中山議員からご質問の点ですけれども、昨年11月にですね、館振興センターでそのAR・VRの推定復元ということでだいたいこういうようなことになるよってイメージで行っております。出席者はだいたい二十数名、地元の方を中心に二十数名集まいただきました。その説明の中で、おおむね、そういうことであれば進めてくださいということで、結論としてはそういうようになっております。今後の見通しというか、その完成予想図はどのような形になるんだということですけども、今、基本計画の修正をすると申しあげましたけれども、その中にAR・VRの計画も全体の中に含めておりますので、当然町のここまではやりたいって部分はその検討委員会にお示ししますけれども、その検討委員会の中で1回、2回程度進んだ中で、より、土塁はどうするんだとか、その復元、現地で復元した方がいいのかAR・VRを活用して復元した方がいいのかそういった議論が検討委員会の中でなされるかと思えます。そういった議論を含めて1、2回揉んでいった中で、完成予想図と言いますか、こういう整備が一番いい史跡としての国費を使った見せ方というものが出来上がってくるのかなというふうに思っております。その全体としては、町としてここまでやりたいというものは作り上げて委員会に臨むことになろうと思えますけれども、ここまでやるっていう確定は時間がかかるのかなって思っております。

<p>議 長 中山 議員</p>	<p>1 番、中山議員 鶉小の問題はすごく問題が大きいんでないかなと。あそこに今説明したように教会みたいな建物になっているんですよね。それが問題でないかって言うんだけども、なかなかそれを断定できないって今も言っていましたけれども、これは問題大きいなというふうな感じ受けてるんですけれども。建設課長、見たことありますか、そこを。確認したことありますか、鶉小学校のその部分。で、たぶん無いんでないかなって思いますけども。あれはやっぱり設計ミスって言うか、今になってみると、本当に大変な校舎だなって感じ受けてますけれども。そのへんについて、もしだめだったら次考えるよってことなんで、ぜひそのようにしてきちっと確認していただきたい。それは普通の雨でなくて、ある程度強い雨じゃないと症状現れないそうなので、きちっとその時に確認すべきだと思うんで、そのへんきちっと確認していただきたいと思います。もう1点、館城の最後はどういう方向に今、主幹、考えているのか。それと教育長、学芸員が1人、このための学芸員なのか、それとも他の方でその学芸員っていうのがどのような状態で今活動させているのか。仕事させているのか。そのへんについてもちょっとお聞きしたいと思います。</p>
<p>議 長 社会教育主幹</p>	<p>社会教育主幹 最後の姿はどこをどうするのかということですが、現状、御殿等の復元は資料が足りなくてできないということでもありますので、AR・VRを用いて推定復元、御殿を現地に行って楽しめる、現地に行かないと楽しめない、そういったものをAR・VRを使って情報提供して、その中で当時こういうものだったんだろうということを見せたいと。それが第一ステップと言いますか、その中で、あと今度それを拠点にそれぞれ、厚沢部観光地点ありますから、それに繋げた</p>

<p>議 長 教 育 長</p>	<p>郷土資料館もありますので、そこでその上洛のショートムービーを作るなり、建物に繋げていく前段としてAR・VRを活用して御殿の復元をしていきたいと、併せて現地の整備も進めていきたいということで考えております。</p> <p>教育長</p> <p>中山議員からご質問ありました、学芸員ですか、これは3月議会でも議員から同じ形でご質問いただきまして、基本的に4月1日をもって正式に厚沢部町の教育委員会の職員として、採用されたわけですがけれども、いわゆる、あくまで事務吏員としての採用でございます。ですから、兼学芸員としての職務を行うということで、これを学芸員と固定してしまうと、前任の職員もそうですけれども、いわゆる町長のお考えの中で固定してしまう。いわゆる昇給とか、その昇任でありますとか、それがいつまでもそこで固定してしまうということで学芸員であっても、いわゆる同様の職員であるから、三世代の中でやはり三世代ぐらいの構図で特別な職務を兼任できる人員を配置、将来的にしていこうとそのうえの第一環としての今、二人目の兼務できる職員が採用されたということです。ですから、非常に館城のいわゆる文化財関係はもちろん、全ての社会教育の仕事に関してですね、精力的に大変頑張っておりますので、今後来られた暁には紹介いたしますのでお声かけいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。以上です。</p>
<p>議 長 浜 塚 議 員</p>	<p>8番、浜塚議員</p> <p>まず1点目、33ページ一番上の工事費でございますが、館、鶉とも30年、35年経過しているような状況、厚沢部が42年ということで、これ、館の部分がのっかてないってことで、ないだろうと思うんですけど、例えば1年前とか2年前に大規模な工事したとかっていうそういう</p>

<p>議 長 学 校 教 育 主 幹</p>	<p>経過がまず、のってないんで、あるんですかどうなんですかという質問です。それから2点目ですが、36ページ、パークゴルフ場の券売機の件です。これ、おそらく思うには町外の方が対象かと思えます。これはいつから始まるのか、いくらで。あるいは、券を買ったということがはっきりすぐわかようなそういうような券ということなんですか、そのへんのところをお願いしたいと思えます。</p> <p>学校教育主幹 ご質問の館小学校につきましてはですね、大きな工事というのはですね、直近3、4年の間にはですね、実施しておりません。館小学校につきましてはですね、軽微なタイルの張り替え工事ですとかモルタル工事等は実施しておりますが、鶉とか厚沢部小学校のような屋根の部分については工事等はここ2、3年では実施しておりません。以上です。</p>
<p>議 長 社 会 教 育 主 幹</p> <p>浜 塚 議 員 議 長</p>	<p>社会教育主幹 パークゴルフ場の関係のご質問であります。いつからやるのかということでございますけれども、議決いただければすぐに設置をし、周知を図って進めていきたいというふうに思っておりますが、券売機の形、どのような形で受付した人と受付してない人を区別するのかということだと思えますけども、今想定しているのはシール形式で帽子ですとか、ポケットとかそういうところに貼れる形できちんと料金を支払って、受付とおってる方だよとことで認識をして、今シール形式を考えているところであります。これは当面、町外の方を限定として考えております。</p> <p>いくら、いくらで考えていますか。料金は。 それは手を挙げて。</p>

<p>議 長 浜 塚 議 員</p>	<p>8 番、浜塚議員 申し訳ないです、質問したことに答えないものですから。いくらってことで考えてますか。料金。</p>
<p>議 長 社 会 教 育 主 幹 議 長 社 会 教 育 主 幹 議 長</p>	<p>社会教育主幹 料金っていうのはプレイ代ということでよろしいのでしょうか。 町外の方の1日券のことだと思います。 プレイ代とすれば1日200円ということであります。</p>
<p>議 長 香 川 議 員</p>	<p>6 番、香川議員 中山議員からもご指摘ありました、館城跡のAR・VRに関するご質問をさせていただきます。まずこの予算額ですね、241万円、そして旅費が188万3千円と載ってます。これに係わる検討委員会、何名で、例えば検討会も何回開催してこの金額になるのか教えてください。</p>
<p>議 長 社 会 教 育 主 幹</p>	<p>社会教育主幹 日額の報酬ですけれども、委員が全部で7名を予定しております。そのうち2名が文化庁の調査官と道教委の職員ということで実際に日額が払われるのは5名の方を予定しております。今のところ、年8回の予定をしておりますけれども、早急に執り進めていきたいと考えております。以上です。</p>
<p>議 長 香 川 議 員</p>	<p>6 番、香川議員 付随して、そもそもAR・VRは誰に向けて。例えば、この保存に係る関係者のためにこういう事業があるのか、それとも町の人のためにあるのか、それともゆくゆくは観光も視野に入</p>

議	長	れてのものなのかお聞かせください。
社会教育主幹	社会教育主幹	これはもともと、何て言うんですかね、将来的には観光にも繋げる中での整備を考えておりますし、町の振興策の一つだと考えております。
議	長	6番、香川議員
香川議員	香川議員	今の館城跡の状況を見て分かるかと思うんですけど、おそらく、WiFi環境もないような状況だと思います。一緒に付随するのであれば、WiFi環境も整えたうえで、AR・VRも使用できるのではないかなと思います。そのへん、どのようにお考えでしょうか。
議	長	社会教育主幹
社会教育主幹	社会教育主幹	ご指摘の通りだと思います。そのWiFi環境も含めて整備計画を進めていきたいと考えております。
議	長	他に8款 土木費から10款 教育費まで質疑ありませんか。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第1号 原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 （異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、議案第1号 令和元年度厚沢部町一般会計補正予算、原案どおり可決されました。

議	長	日程第7 議案第2号 令和元年度厚沢部町介護保険事業別会計補正予算、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	保健福祉課長
保 健 福 祉 課 長	長	議案第2号の令和元年度厚沢部町介護健康保険事業特別会計補正予算（第1号）の内容について、御説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	歳入、歳出全般について質疑ありませんか。4ページから6ページまでです。
議	長	質疑ありませんか。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第2号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 （異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第2号 令和元年度厚沢部町介護保険事業特別会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第8 議案第3号 令和元年度厚沢部町国民健康保険病院事業特別会計補正予算、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	病院事務長

病院事務長	議案第3号の令和元年度厚沢部町国民健康保険病院事業特別会計補正予算（第1号）の内容について、御説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議 長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議 長	収入、支出全般について質疑ありませんか。ページ数は12ページです。
議 長	1番、中山議員
中山議員	ちょっと分かんないんで聞くんですけども、ここで今回674万8千円を繰り入れした中で、その支出のところで、報酬のとして861万5千円の減額っていうふうになっています。これは最終的には62万8千円の減になるんですけども、これは今、内科医が入ってくることによる変化なのか、結果なのか。それでこの嘱託医師ですね、報酬、これは土日の医大から来る医師の分の減額になるのかどうか、このへんについての、内科医が入ってくることによってこういう経過になるんだよってことなんだと思うんですけど、そのへんについて詳しく、分かりやすく説明していただきたいというふうに思います。
議 長	病院事務長
病院事務長	ただ今のご質問の内容についてですが、医師1名採用によりまして、今回、今、月2回、札医に依頼しております出張医につきましては、全てを当院の常勤医師、実際4名おりますが、いわゆる嘱託医で1名おりますので、実際2名の中でやられている当直等を全て新しい1名を加えて3名で行うという想定のもとに札医にお願いしております出張派遣医師の方に係る経費としてこの861万5千円は減額させていただいたものでございます。さらに、その下の経費として減額しております62万8千円につきましても、その派遣に係る旅費・交通費分62万8千円、こち

<p>議 長 中山 議員</p>	<p>らを減額させていただいたものであります。</p> <p>1 番、中山議員</p> <p>そうすると、今の事務長の説明を聞くと、内科医が入ってくることによって、働き方が変わってくるよと。で、土日はそしたら常時、心配なく患者を受け入れるのかということなんですけれども、そのへんはこれからどうするのか。それともう一つは、我々心配するのが、この医大との系統がなくなった時点で、今後また、医師確保ってなった時に町長は苦勞するんでないかなと思うんですけども、医大とのパイプが無くなった場合に、我々心配するのは医師の確保と。このへんについて心配はないのか、町長、そのへんはどうですか。</p>
<p>議 長 病院 事務 長</p>	<p>病院事務長</p> <p>土日の対応につきましては、現在、日直、それから当直ですね、宿直として、宿日直を医大にお願いしている分を全て常勤医、新しい医師加えて3名で対応するという事で考えております。通常診療ではなく、いわゆる宿日直ということでの対応を今までお願いした部分を常勤医で対応するという内容でございます。医大の件に関しては、年度の当初に厚沢部町の国保病院としての必要な日程を組んで、ここのところで派遣をお願いしますかという、一応要請は挙げておりました、それに対して、対応できますよと返事はいただいておりますが一応具体的には毎月、何月の何日に来ていただくように、うちの方から要請書を出して、それに対応していただく形になりますので、もし本日、議会の方でこちらの予算を認めていただけたらば、暁に医大の方に具体的にその内容を説明して、しばらく休んでいただくというお願いをすることになるかと思っております。</p>
<p>議 長</p>	<p>1 番、中山議員</p>

<p>中山議員</p>	<p>そのへん心配なければそれで結構ですけれども、今回町長うまくまた、一人見つけてきましたので、そういう中では我々大変安心して病院に行けるのかなというふうに思います。内科医ということなので、専門は総合的に、今までみたいに、佐々木院長、それから木村副院長みたいに総合医でやれるのかどうか、そのへんの心配はないのかどうか。それと、町長にもさっき言ったんですけれども、今後の医師の確保について問題ないのかどうか。それについて説明していただきたいと思います。</p>
<p>議町長</p>	<p>町長 今回、医師1人導入するという事の中でまず、医大との関係。これは全く今、直接医大から医者を正規に雇用できるというふうな状況ではありません。医大そのものが医師のいない大学になってしまっております。私どもも、今回の医者も東京の医療対策協議会という、この組織から実は紹介をいただいております。そういう中で、今後とも医大とか北大とか直接の医療機関との調整は今後はまず無理だというふうな事になっております。そういう中で、東京の会の方から今回も派遣いただいて。今回おいでになる医者については消化器対応であります。ですから、胃カメラだとかそっちの方が専門であります。ですから、今あるうちの病院の中では佐々木院長は循環器ですから、そういうことから行くと今以上に大きな患者対応ができるというふうな事になります。医大との付き合いというものは依然、従来と変わりなく私どもはこれからも接触できるとこういうふうに思っております。</p>
<p>議長</p>	<p>他に質疑ありませんか。（ありませんの声あり） 質疑を終結します。</p>

議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第3号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 （異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第3号 令和元年度厚沢部町国民健康保険病院事業特別会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第9 議案第4号 厚沢部町森林環境譲与税基金条例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	農林商工課長
農林商工課	長	議案第4号の厚沢部町森林環境譲与税基金条例の制定について、説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	質疑ありませんか。（ありませんの声あり）
議	長	それでは、質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第4号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 （異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第4号 公厚沢部町森林環境譲与税基金条例の制定につ

議	長	いて、原案どおり可決されました。
議	長	日程第10 議案第5号 厚沢部町半島振興地域企業立地促進のための固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	議案第5号の厚沢部町半島振興地域企業立地促進のための固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について、説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	質疑ありませんか。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第5号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 （異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第5号 厚沢部町半島振興地域企業立地促進のための固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について、原案どおり可決されました。
議	長	日程第11 議案第6号 厚沢部町乳幼児及び児童生徒医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。

議	長	保健福祉課長
保健福祉課長		議案第6号の厚沢部町乳幼児及び児童生徒医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第6号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 （異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第6号 厚沢部町乳幼児及び児童生徒医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、原案どおり可決されました。
議	長	日程第12 議案第7号 厚沢部町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	保健福祉課長
保健福祉課長		議案第7号の厚沢部町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	質疑ありませんか。（ありませんの声あり）

議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。(ありませんの声あり)
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第7号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 (異議なしの声あり)
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第7号 厚沢部町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、原案どおり可決されました。
議	長	議事の途中ですが、14時15分まで休憩といたします。(14:07)
議	長	休憩前に引き続き会議を開きます。議事を続行いたします。(14:15)
議	長	日程第13 議案第8号 厚沢部町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	保健福祉課長
保健福祉課長	長	議案第8号の厚沢部町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、説明いたします。 (議案内容説明記載省略)
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	質疑ありませんか。(ありませんの声あり)
議	長	それでは、質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。(ありませんの声あり)

議	長	討論を終結します。
議	長	議案第8号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 (異議なしの声あり)
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第8号 厚沢部町介護保険条例の一部を改正する条例の
議	長	制定について、原案どおり可決されました。
議	長	日程第14 議案第9号 生活改善センター等の設定及び管理に関する条例の一部を改正する条
議	長	例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	建設水道課長
建設水道課長	長	議案第9号の生活改善センター等の設定及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に
議	長	ついて、説明いたします。(議案内容説明記載省略)
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。(ありませんの声あり)
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。(ありませんの声あり)
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第9号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 (異議なしの声あり)
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第9号 生活改善センター等の設定及び管理に関する条
議	長	例の一部を改正する条例の制定について、原案どおり可決されました。

議	長	日程第15 議案第10号 厚沢部町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	建設水道課長
建設水道課長	長	議案第10号の厚沢部町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について、説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	質疑ありませんか。
議	長	10番、佐々木議員
佐々木議員		20年枠を撤廃するっていう、これはやっぱり、そういう必要性っていうか減額せざるを得ないっていう、になった経緯はどうなんでしょうか。
議	長	建設水道課長
建設水道課長	長	特定公共賃貸住宅がですね、20年以上前なんですけど、平成5年の時に制度が設けられました時に、国がですね、モデル条例を示しまして、モデル条例にのっかって各自治体がこのような管理条例を制定いたしました。管理開始後20年を限度としている家賃の減額について、現在の世の中と言いますか、経済状況だとかそういう管理状況ですね。に応じて地方の裁量で期間を限定しないで行うこととなったものでありますので、今以上の居住の安定を図るためにですね、管理開始20年を限度としている家賃の減額について期間を限定しないで行うことができるようにするために、今回これを削ったものであります。

<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>10番、佐々木議員 分かりました。特定住宅ですので所得の高い方ということですよ。分かりました。それでですね、一般公営住宅なんですけれども、これについては厚沢部それぞれ一本化になってますけれども、館・鶉については入居者がいないと、関係性が無いとも言えないんですけれども、そういったようなことをですね、むしろ一般住宅の方も軽減する条例をですね、考えさせなければですね、下地区は入居者の希望が大変多いですけれども、館・鶉に関しては、全く入らない、入居者が困難だという、そういう状況あります。そういう部分もどうなんでしょうね。町長、どう考えますか。軽減をしていくと。</p>
<p>議 長 建設水道課長</p>	<p>建設水道課長 館・鶉につきましても、鶉の方につきましては今回も27日に選考委員会あるんですけれども、1軒空いているところに対して1件応募募集がありました。そうすると、鶉の方は古いのは別として一応まんどに入っている状態です。あと、館につきましても、現在空き家、平成5年、6年に建てた2階建てですか、あのへんが少しずつ空いてきまして、確かに申込みについては少ない状況であります。館と鶉の家賃につきましても、あくまでも国の定めた計算方式によって定めてありますが、一応、固定資産税っていうのも勘案して計算してますので、一応全く同じものの条件であれば、やっぱり館と鶉の方が新町に比べて固定資産税が安いものですから、家賃についても当然低く設定されるようなことになっておりますので、それもきちっと計算で行われてますので、特に館と鶉だからもっと安くというようなことはしなくても、そのような状況にはなっていることに計算ではなっております。</p>

<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>10番、佐々木議員 中学校も本町の方に一つになったと、そしてまた、これから小学校も何かしらそういう動きがあるということで働く世代、若い世代がそういった利便性が悪い所に住まなくなったというようなことを考慮したうえでですね、やっぱり、軽減するという考えを持って行った中でですね、進まない、残るのはどこにも行けない、年配者ってことにもなってしまう。やっぱり、どこかの時点で考えていかなければならないなと思うんですけど、どうですか、町長。住宅の軽減について。</p>
<p>議 長 町 長</p>	<p>町長 館・鶉方面の公住を要するに値下げをしてはという、こういう提案と言いましょか、このようではありますが、公営住宅というのは皆さんご承知の通り、これ国の基準で価格というのは設定されております。今、厚沢部町のように、どんどん町のはずれにある、例えば独居老人、老老介護、こういう必要な人達は市街地に移ってきなさいというような方向で今動いております。そういう制度がどんどんできていますから、むしろ値下げしても、なんとなく、館・鶉の公住はこれから満タンになるというようなことにはならないんでないかというふうに思います。だから、安い高いの話ではなくて。町としては、いずれにしても、ちょっとした財産ですから、町民の財産ということで、簡単に閉鎖する、壊すことが出来ない訳ですから、そういうことも含めて公営住宅の値下げというのはなかなかしづらいものがある。ただ、いずれにしても、公営住宅であろうと特公賃であろうとその人の所得が基準ですから、ですから所得の低い人は低いなりに家賃が請求されますので、今、どの住宅を安くする高くするというような論にはならないというふうに思</p>

町 長 高 田 議 員	<p>っております。</p> <p>9 番、高田議員</p> <p>特公賃が 20 年で云々という話ですけれども、とうことは具体的に減額の対象となっている例が今まであって、なおかつ 20 年間という区切りを無くした方が利用者にとっていいねということだと思っておりますけれども、個別は特にいいですけど、具体的にどのくらいの減額の割合というものあるんですか。</p>
議 長 建 設 水 道 課 長	<p>建設水道課長</p> <p>減額の割合と言いますか、特公賃条例の中に家賃というものが書かれておりまして、例えば、その新町の保育所の向かいですか、あその 3LDL、一般向けであれば、あそこは平成 12 年に建てておりますので、まだ 20 年経ってないんですけれども、これ消せることによって、あと 3 年後の家賃も今までどおりの家賃で入居者の方はいられるということなんですけれども、本来、家賃があその場合は 3LDKだと 8 万 3 千円という設定をしています。ところが、実際、特公賃といえども、所得が普通の家庭であれば、例えば公営住宅であればはいれないけど、特公賃ならはいられる、20 万円ちょっとという方であれば 8 万 3 千円を払えっていうのはなかなか厳しいものがありまして、それを減額しておりまして、それを 8 万 3 千円から、3 段階に分けておりまして。8 万 3 千円って本来家賃は設定しているんですけれども、それを減額して、一番低い方であれば 5 万 8 千円で入られるというような設定で、次の上の方ですと 7 万 5 0 0 円、それで 8 万 3 千円。過去にはやっぱりどうしても夫婦共稼ぎで今もいらっしゃる方で年間、月額にすると 40 万円、50 万円であれば 8 万 3 千円払っていただいている方もいますし、ごくごく</p>

議	長	普通の方であれば5万8千円の家賃で入られているということで、そのように軽減、減額をして居住の安定を図っていたたということでございます。
議	長	他に質疑ありませんか。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第10号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 （異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第10号 厚沢部町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について、原案どおり可決されました。
議	長	日程第16 議案第11号 厚沢部町国民健康保険病院の使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する 条例の制定について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	病院事務長
病 院 事 務	長	議案第11号の厚沢部町国民健康保険病院の使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について、説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）

議	長	討論を終結します。
議	長	議案第11号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 (異議なしの声あり)
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第11号 厚沢部町国民健康保険病院の使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する 条例の制定について、原案どおり可決されました。
議	長	日程第17 議案第12号 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	総務政策課長
議	総務政策課長	議案第12号の北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について、説明いたします。(議案内容説明記載省略)
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	質疑ありますか。(ありませんの声あり)
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。(ありませんの声あり)
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第12号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 (異議なしの声あり)
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第12号 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

		ついて、原案どおり可決されました。
議	長	日程第18 議案第13号 北海道市町村総合事務組合規約の変更について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	総務政策課長
総務政策課長	長	議案第13号の北海道市町村総合事務組合規約の変更について、説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	質疑ありますか。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第13号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 （異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第13号 北海道市町村総合事務組合規約の変更について、原案どおり可決されました。
議	長	日程第19 議案第14号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	総務政策課長

総務政策課長	議案第14号の北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について、説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。（ありませんの声あり）
議長	質疑を終結します。
議長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議長	討論を終結します。
議長	議案第14号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 （異議なしの声あり）
議長	異議なしと認めます。したがって議案第14号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について、原案どおり可決されました。
議長	日程第20 議案第15号 財産の取得について、議題とします。
議長	議案の説明を求めます。
議長	保健福祉課長
保健福祉課長	議案第15号の財産の取得について、説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議長	7番、上戸議員
上戸議員	戸籍総合システムの導入ということで、内容については随意契約というふうになってますけども、町の規定がどれくらいでできるのかちょっと不明ですけども、そのへんの質問と、それと金額が大きいんですけれども、何社からか見積もりをもらって、そのうちの1社がSECで安かつ

<p>議 長 保 健 福 祉 課 長</p>	<p>たから、ここと随意契約をしたと、そのような内容での提案でしょうか。この点説明をお願いします。</p> <p>保健福祉課長</p> <p>この戸籍総合システムであります、今までですねこれリースで契約しておりまして、このリースの契約会社がSECでありました。それで、この随意契約なんです、もし他社と競争した一般入札ということになりますと、今までこういう連携システムって戸籍総合システムと他の住民システムとか色々繋がっているものですから、もし他社が入ることになりますと、さらに違う機械でサーバーを取り付けたり、そういう機械の増設と費用の増額が見込まれるものでありました。それで、この戸籍総合システムの情報関連につきましてはSECの方で一括しておりますので、このままSECとの1社の随意契約で行いました。</p>
<p>議 長 上 戸 議 員</p>	<p>7番、上戸議員</p> <p>今、1社だけからの見積りで決めたとお話伺ったんですけども、これであれば価格が高いのか安いのか適正なのかということが分からない中で相手と交渉して、言いなりになるということはないと思うんですけども、どうも価格の決め方が私には分からないというふうなことです。例えば他町村が同じ会社のものをいれているだとかそういう情報があっただろうか、そういう点も含めてもう一度説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>議 長 保 健 福 祉 課 長</p>	<p>保健福祉課長</p> <p>先ほど申し上げましたように、この戸籍総合システム、他の住民関係システムと連動して取り付けているシステムでその情報の交換関係でSECがこのシステムを今までそこと契約していた</p>

<p>議 副 町 長</p>	<p>と。それでSECで住民情報について記録媒体を持っているので、これをもし他の会社等と契約すればまた、また新たにこういう住民情報なんりのデータを取得、さらにサーバーの設置とかそういうことも出てきます。また、このSECに関連しましては上ノ国町ですとか、函館市、北斗市、森町等でも、SECさんでこの戸籍総合システムの1社で随意契約とうことで行ってありました。</p> <p>副町長</p> <p>おっしゃる意味よく分かります。ただ、このシステムにつきましては、いわゆるデータというのは我が方ないわけで。住民データも戸籍データもいわゆる導入したシステムの会社の所有権なんで。で、それを新たに換えようとするすと、そのデータ移行からのお金が発生してくるということであります。それと、先ほど言いましたように、住民基本台帳、いわゆる住基というのと戸籍というのは違うものでありますけれども、実際はこれ、連動しております。で、うちの場合は税も連動しているし、全てのシステムが連動しているわけでございまして、これ一つだけ替えるということはまた、全体を替えるというようなことになります。ただ、おっしゃる機械買うにしても何にしても全部5社以上の入札と、売り額が多額になるとやっていますけども、これにつきましては、どこの市町村についても最初入っているところ。それか、全部替えるかというようなことございます。そこでこういう疑問というのは当然あるわけでございまして、今政府の方では行政システムの全国統一様式ということを図ろうとしています。今後10年以内に行政システムを同様の仕様にして、データ管理をしていこうということはまだ、決めておりませんが、今年度出る骨太の方針の中で、いわゆるクラウド方式って言うんですけれどもそういうのを導入</p>
----------------	--

<p>議 長 上 戸 議 員</p>	<p>しようとしている方向にはあります。どうしてその1社だけなんだという疑問はあります、お持ちなのは普通だと思います。普通だと思いますけれども、これに関してはもうすでにデータ入っているし、全てのデータ最初から入れなおすことにはいかないので1社の随意契約で各町ともそういう形でやっているとうことであります。</p> <p>7番、上戸議員</p> <p>データが相手の会社の所有権だという意味がそもそも私分かりません。厚沢部町で入力したものがどうして相手の会社の所有権になるのかというのが分からないし、せめて、試しにでもよそから導入するんであればいくらかかるんだというくらいの見積りの的なのをもらってもよかったのかなというふうに思います。以上です。</p>
<p>議 長 総 務 政 策 課 長</p>	<p>総務政策課長</p> <p>地方自治法の中にですね、随意契約というものがございます。それで、額的に規則で定めなさいと、で、うちの場合であれば財務規則の中にですね、151条の中にありますけれども、随意契約によるものにできる額ということで、例えば工事、または製造の受入であれば130万円以上と、額がその項目によって定めております。その他にですね、予算執行者等は随意契約にする時は予定価格が5万円未満を除く物のほか、2人以上から見積もりを徴しなければならないと。そこで、但し書きで、次の各号のいずれかに該当する場合は1人から見積書を徴することが出来るとされておりまして、その中で第1号の中で、契約の目的、または性質により契約の相手方が特定される時、と定めておりまして、今回の場合これにあたるのかなと。それから、2号といたしましては、市場価格が一定している場合、一般競争や、指名競争入札する必要が無い物品を購</p>

議	長	入する時、とう但し書きがございまして、このうちの1号を採用したものと考えられます。
山	員	2番、山崎議員
議	員	今まで、この総合システムは借上げていうことでやってきたんですが、今回取得するっていう意味ってのはどういうこと。特別なんかの補助がついたとかそういう感じなのか。
議	長	保健福祉課長
保	課	補助等ではないんですが、この機械自体のサーバーあるんですが、今回サーバーのサポート期間が今回ちょうど切れる期間にあたるんで、それで、これからリースにするか、新しく購入するかで見積もりをとっていろいろ検討した結果ですね、リースよりは購入してしまった方が約200万円ほど安くなったものですから、200万円ですが、それであれば購入してしまった方がよろしいということで今回のことになりました。
議	長	ほかに質疑ありませんか。(ありませんの声あり)
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。(ありませんの声あり)
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第15号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 (異議なしの声あり)
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第15号 財産の取得について、原案どおり可決されました。
議	長	日程第21 報告第1号 厚沢部町一般会計繰越明許費の繰越について、議題とします。

議	長	議案の説明を求めます。
議	長	税務財政課長
議	長	報告第1号の厚沢部町一般会計繰越明許費の繰越について、説明いたします。 (議案内容説明記載省略)
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	質疑ありませんか。(ありませんの声あり)
議	長	質疑を終結します。
議	長	報告第1号、厚沢部町一般会計繰越明許費の繰越について、報告済みとします。
議	長	日程第22 意見書案第1号及び日程第23 意見書案第2号の2件を一括議題にしたいと思 います。これに御異議ありませんか(異議なしの声あり)
議	長	異議なしと認めます。
議	長	おはかりします。意見書案第1号から意見書案第2号については、議会運営委員会で協議し、 提出することに決定しております。したがって、あらかじめ配布しておりますので、朗読及び質 疑、討論を省略して、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。 (異議なしの声あり)
議	長	異議なしと認めます。したがって、意見書案第1号 「子どもの貧困」解消など教育予算確 保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担金制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・ 多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書、及び意見書案第2号 2020年度地 方財政の充実・強化を求める意見書、 の2件について、原案どおり可決されました。

議	長	日程第24 閉会中の継続調査の申し出について、議題とします。
議	長	おはかりします。総務文教常任委員会委員長及び産業厚生常任委員会委員長から、お手元に配布のとおり、閉会中の継続調査の申し出がありますので、両委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	意義なしと認めます。したがって総務文教常任委員会委員長及び産業厚生常任委員会委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。
議	長	日程第25 議員の派遣について、おはかりします。
議	長	会議規則第120条の規定によって、お手元に配布のとおり議員を派遣することにしたいと思えます。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、お手元に配布のとおり、議員を派遣することに決定しました。
議	長	以上で、本定例会に提出された案件の審議、全部終了しました。
議	長	これをもって、会議を閉じたいと思います。
議	長	令和現年第2回厚沢部町議会定例会閉会します。御苦勞様でした。（15：05）

上記の会議録は、厚沢部町議会事務局長 森理生、総務係 吉田友耶の2名によって記載したものであるが、その内容に相違ないことを証明するためにここに署名する。

議 長
署 名 議 員
署 名 議 員